

あかしかいきょう あかしかいきょうおおはし  
明石海峡と明石海峡大橋

所在地：淡路市 岩屋



舞子側から望む明石海峡、明石海峡大橋と淡路島

「夜の海峡大橋」淡路市 木村卓司氏撮影  
(第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品)「波に揺れて」淡路市 板倉義明氏撮影  
(第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品)

淡路SAからの展望

明石海峡は、淡路市と明石市の間に位置し、大阪湾と播磨灘を隔てる海峡です。最狭部の幅が狭く海流が速いため、古くから海上交通の難所とされてきました。しかしながら、その風光明媚な景観は、松帆の浦などの汐待の地とともに、多くの歌人・俳人に歌われてきました。現在も、タイやイカナゴ漁をする漁船の他、多くの船舶が航行しています。

明石海峡に架けられた明石海峡大橋は、神戸市垂水区東舞子町と淡路市岩屋を結んでいます。主塔間スパンが世界最長の1,991mの吊り橋で、橋長が3,911mとなっています。平成10年(1998)に開通しました。

パールブリッジの愛称で親しまれる明石海峡大橋と明石海峡が一体となった遠景は、淡路SAを始め、淡路市各所から望むことができます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路SA。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# えさきとうだい 江崎灯台

所在地：淡路市 野島江崎



江崎灯台

江崎灯台は、慶応3年（1867）に、徳川幕府が兵庫開港の備えとして作らせた灯台です。「日本の灯台の父」と呼ばれるイギリス人技師のリチャード・ヘンリー・ブラントンが設計し、日本で8番目に建設された洋式灯台で、石造りの灯台としては日本で3番目に古い灯台です。

現在も、石造りの灯台や旧宿舎は、明治4年（1871）4月27日に初点灯した当時の姿を良く残しています。

明石海峡は、漁船を始め、様々な船舶が行き交う航路です。江崎灯台は、明治時代から明石海峡を行き交う船舶の安全を守っています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - ✓ 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路ICから、県道31号線を北上、車で20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

まつほ うら  
松帆の浦

所在地：淡路市 岩屋



「夜明けの海峡」淡路市 木村卓司氏撮影  
(第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品)



恵比寿神社



松帆の浦の石碑



淡路國名所図絵「松帆浦」

松帆の浦は、淡路島最北部に位置し、古くから明石海峡を渡るための拠点でした。明石海峡が荒れたときに、風待ち、潮待ちしたのが、松帆（待つ帆）という名の由来であるといわれています。

松帆の浦は、藤原定家が「来ぬ人を 松帆の浦の 夕凧に 焼くや藻汐の 身もこがれつつ」と詠んだ歌をはじめ、多くの歌に詠まれた場所でもあります。

平成10年(1998)に明石海峡大橋が開通し、淡路名所図絵にみることができる松林も無く、松帆の浦の景観も大きく変わってしまいました。しかしながら、松帆の浦の恵比寿神社鳥居から望む朝日、海岸の玉石に明石海峡の波が打ち寄せる様から、当時をしのぶことができます。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - ✓ 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路ICから、県道31号線を北上、車で10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# あわじしま 淡路島のイカナゴ漁<sup>りょう</sup>

所在地：淡路市 岩屋



「盛大な見送り」兵庫県神戸市 西橋弘氏撮影（第2回淡路島景観フォトコンテスト 優秀賞受賞作品）



「イカナゴ干し」  
淡路市 山本喜一氏撮影  
（第2回淡路島景観  
フォトコンテスト  
審査員特別賞受賞作品）



「くぎ煮作り」  
洲本市 山本雅宣氏撮影  
（第2回淡路島景観  
フォトコンテスト 応募作品）

瀬戸内の春の風物詩であるイカナゴ漁は、3月～4月にかけて最盛期を迎えます。淡路島では、イカナゴの中でも特に小さいものを「コナ」と呼び重宝しています。この「コナ」を原料にしたくぎ煮は特に有名です。

イカナゴ漁は、岩屋漁港をはじめ島内各地で盛んにおこなわれており、水揚げされたイカナゴを海辺で天日干しにする様子は、春の訪れを感じさせる景観です。

イカナゴを天日干しにすることで、余分な水分をとり、イカナゴの表面に膜を作ることで栄養価を高めるとともに旨味が増していきます。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路IC下車、国道28号に入り岩屋ポートビル（明石行き高速艇乗り場）方面に北上、車で約10分。



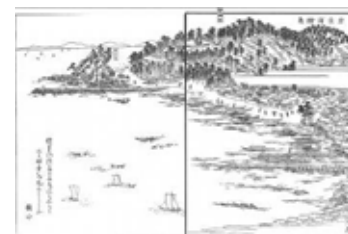
地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

えしま  
絵島

所在地：淡路市 岩屋



絵島



淡路國名所図絵「絵島」



絵葉書にみる絵島 提供：絵葉書資料館



絵葉書にみる絵島 提供：成錦堂

岩屋漁港にある小島で、国生み神話に登場する「おのころ島」伝承地の一つとされています。約 2 千万年前の砂岩層が露出し、岩肌の侵食模様が特徴となっています。

昔から月見の名称として名高く、西行は「千鳥なく 絵島の浦に すむ月を 波にうつして 見る 今宵かな」と詠っています。島の頂には、平清盛が大輪田の泊（神戸市兵庫区）を築造する際に人柱となった松王丸（平清盛の小姓）を、絵島の美しさについて語り合った思い出とともに祀ったと伝えられています。

現在でも淡路島を代表する景勝地として知られ、夜間にはライトアップされた姿を見ることができます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - ✓ 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路 IC から、国道 28 号北上、車で 10 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

やまとじま  
大和島

所在地：淡路市 岩屋



大和島とイブキ群落（県指定文化財）



淡路國名所図絵「大和島と岩屋神社」



大和島と見那瀬山  
出典：絵葉書資料館

大和島は、淡路島の北東、絵島の南に位置し、砂岩と礫岩からなる陸続きの小島です。

大和島では、各所に小型の海食痕がみられるとともに、明石海峡から吹く海風により特異な風衝形となったイブキ群落（県指定文化財）もあり、海と一体となった淡路島の自然を感じさせる景観が広がっています。

また、大和島は、絵島や沼島と同様、伊弉諾尊（イザナギノミコト）と伊弉冉尊（イザナミノミコト）の国生み神話のオノコロ島である伝えられています。大和島を始めとした国生み神話の伝承地では、古代の海人族（アマゾク）が信仰の対象として守り育ててきた場所でもあり、淡路島の歴史を感じさせる景観が広がっています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
  - ✓ 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路IC下車、国道28号に入り岩屋ポートビル（明石行き高速艇乗り場）方面に北上、車で約5分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

おおさかわん のぞ いわやちゅうがっこう  
**大阪湾を望む岩屋中学校**

所在地：淡路市 岩屋



岩屋中学校校舎と大阪湾

岩屋中学校は、「いるか設計集団」が設計したモダンなデザインの校舎です。国道 28 号から見える大小様々な瓦屋根など、温かみあるデザインとリズム感のある外観が特徴です。

校舎内では、学年毎に教室とワークスペースやコーナーを組み合わせた空間をつくりだしているとともに、中庭を囲む回廊を屋上テラスとつなぐなど、変化のある空間配置を心がけ生徒へ様々な居場所を提供しています。

校舎周りにおいても、木造のあずま屋や釉薬瓦のかけらをつかったモニュメントなど、温もりのある雰囲気づくりが行われています。

このような設計が評価され、岩屋中学校は 1993 年に兵庫県さわやか街づくり賞を受賞しました。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路 IC から国道 28 号へ、車で約 5 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

ひょうごけんりつあわじしまこうえん あわじ

## 兵庫県立淡路島公園と淡路ハイウェイオアシス

所在地：淡路市 岩屋



兵庫県立淡路島公園 出典：財団法人淡路島くにうみ協会 HP



淡路ハイウェイオアシス 出典：財団法人淡路島くにうみ協会 HP

兵庫県立淡路島公園は、淡路島北部の丘陵地帯に位置する 87.2ha（開園面積）の公園で、昭和 60 年（1985）にオープンしました。明石海峡、大阪湾のパノラマ景観や、明石海峡大橋・神戸市街の夜景を望むことができる淡路島随一のビュースポットとして知られています。

また、園内にある「淡路ハイウェイオアシス」は、神戸淡路鳴門自動車道の淡路サービスエリアに直結した施設で、アトリウム、レストラン、カフェ、ショップなどが立ち並び、淡路島の玄関口として車で淡路島を訪れる方々の立ち寄りスポットとして賑わっています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - ✓ 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路 IC から、県道 157 号線へ。車で 5 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図



いわやじんじゃ はるまつ  
石屋神社の春祭り

所在地：淡路市 岩屋



石屋神社



春祭り

出典：一般社団法人淡路島観光協会HP



春祭り

出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

石屋神社は、國常立尊・伊弉諾尊・伊弉冉尊を奉る神社で、天地大明神とも、岩屋明神、絵島明神とも呼ばれています。もとは三対山に鎮座していましたが、15世紀後半、後土御門天皇の時代に、大内義興が三対山に築城した際、現在地に遷座させられました。

神功皇后が、岩屋で汐待ちをしていた際に、石屋明神を参拝し、「いざなぎやいざなみ渡る春の日にいかに石屋の神ならば神」と詠じたところ、海上は静まったという言い伝えがあります。

石屋神社で毎年五月に行われる春祭りは、島内主要神社の春の例大祭の最後を飾る祭りです。春祭りでは、曳きだんじりが町内をくまなく練り歩くなど、地域の方に支えられながら盛大に行われています。

【景観の特徴】

- 自然が作りだす景観
- ✓ 歴史が作りだす景観
- ✓ 生活・文化が作りだす景観
- 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路ICから、国道28号北上、車で5分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

あわじゆめぶたい こくえいあかしかいきょうこうえん  
**淡路夢舞台と国営明石海峡公園**

所在地：淡路市 夢舞台



「歓声聞こゆ」兵庫県神戸市 西橋弘氏撮影

(第1回淡路島景観フォトコンテスト 審査員特別賞受賞作品)



淡路夢舞台

出典：一般社団法人淡路島観光協会HP



奇跡の星の植物館

出典：一般社団法人淡路島観光協会HP



百段苑

淡路夢舞台と国営明石海峡公園（淡路地区）は、関西国際空港の土取り跡地であった場所を花と緑で再生すること目的に整備され、「ジャパンフローラ 2000」の会場となりました。

淡路夢舞台は、世界的に有名な建築家の安藤忠雄氏による設計で、百段苑や奇跡の星の植物園など花と緑があふれる見所、国際会議場などの様々な施設がある複合的施設です。

また、瀬戸内海に面した国営明石海峡公園（淡路地区）では、公園のいたるところから瀬戸内海と四季折々の花を楽しむことができる憩いの場であるとともに、音楽イベントなど様々なレクリエーションの場を提供しています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路ICから国道28号へ、車で約5分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# ひょうごけんりつあわじけいかんえんげいがっこう 兵庫県立淡路景観園芸学校

所在地：淡路市 野島常盤



淡路景観園芸学校 校舎 出典：淡路景観園芸学校 HP

淡路景観園芸学校は、花と緑を中心に、地域独自の風土や文化の創造、自然環境の保全に資する「景観園芸」を実践する学校として、阪神淡路大震災後、平成11年（1999）に開講されました。

地域に開かれた学校として、キャンパス内の庭園を一般開放し、誰でも自由に散策することができます。庭園には、様々な草花や樹木でデザインされた植物展示見本園、ロックガーデン、園芸療法を実践するガーデンなど、見どころが満載です。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - ✓ 新しく作りだす景観

【アクセス】淡路景観園芸学校へは  
神戸淡路鳴門自動車道淡路ICから県道157号線を直進、車で15分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# あわじぼうけん もり 淡路冒険の森

所在地：淡路市 楠本



「Player (プレイヤー)」洲本市 長野日向子氏撮影 (第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)

淡路冒険の森は、里山と古民家を利用して平成15年から開園しているプレイパークです。

園内の里山には、竹のテラス、空中回廊、ハンモック、巨大ブランコ、絵本の部屋等があり、子どもたちに人気です。また、手作りの石がまやかまどがあり、食事をみんなで一緒につくることができる場所も提供されています。

淡路冒険の森は、毎週日曜日に開園されており、プレイリーダーが常駐しています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - ✓ 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道東浦ICから、県道460号線を左折し、国道28号を北上。車で約15分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# ひょうごけんりつ はな 兵庫県立あわじ花さじき

所在地：淡路市 楠本



「天空の花壇」和歌山県橋本市 酒井雅治氏撮影  
(第1回淡路島景観フォトコンテスト 審査員特別賞受賞作品)



「仲よし家族」大阪府豊中市 横田早苗氏撮影  
(第1回淡路島景観フォトコンテスト審査員特別賞受賞作品)



あわじオープンガーデン



あわじオープンガーデン

あわじ花さじきは、淡路島北部の丘陵地の大阪湾に面したなだらかな斜面にあります。明石海峡、大阪湾を背景に、約15haの広大なあわじ花さじきには、広大な花のパノラマが広がっています。眼下に広がる花の絨毯を楽しめる、極上の見物席として「あわじ花さじき」と命名されました。

春は菜の花、夏はサルビア、秋はコスモス、冬はストックを中心に、四季それぞれの花が咲き表情を変える花畑は、淡路島を訪れる人を絶えず楽しませています。

平成14年(2002)から淡路島そのものをガーデンアイランドと考え、個人のお庭やお寺など、現在では約70箇所で開催されています。あわじ花さじきや個人のお庭で咲く色とりどりの花を楽しみに、毎年多くの方が訪れます。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路ICから、県道157号線を南下、車で15分。

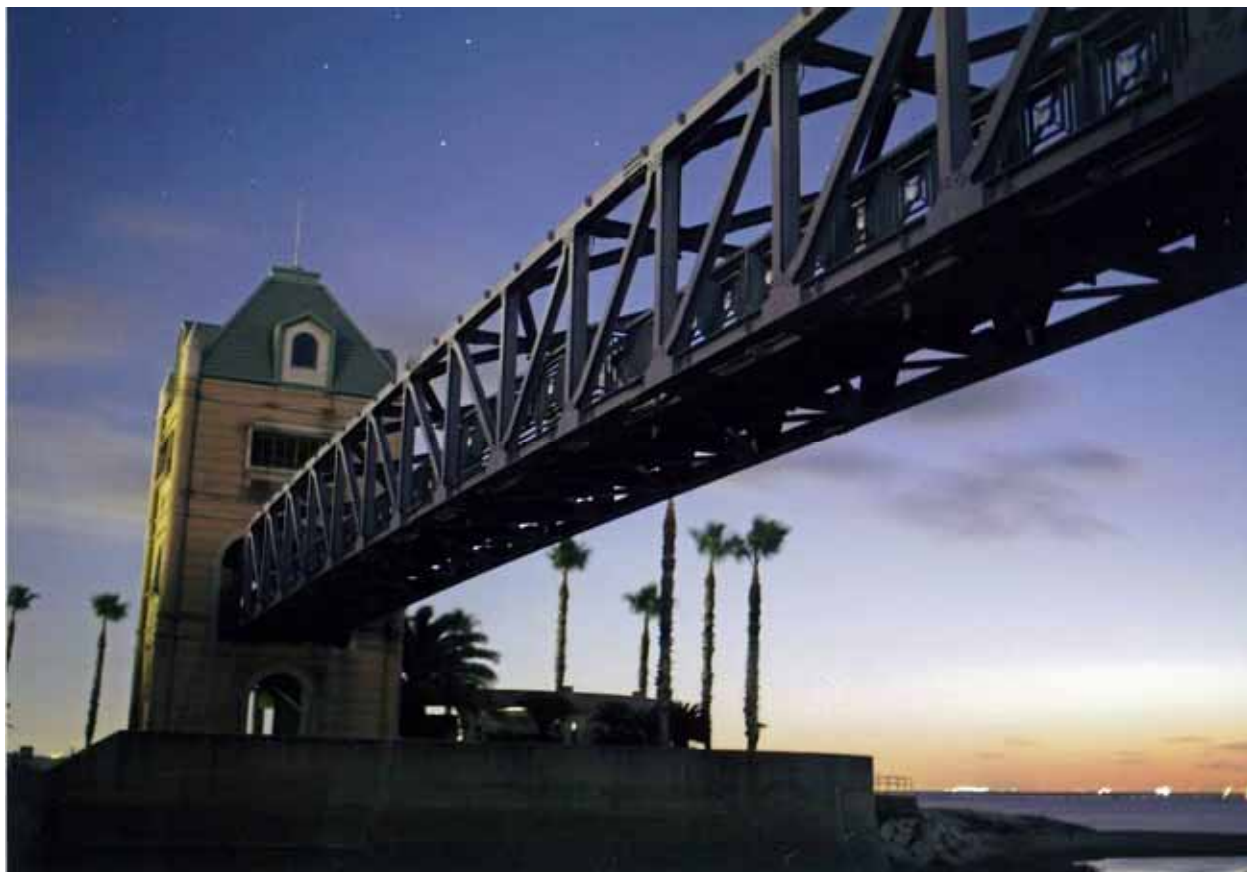


地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

ひがしうら

## 東浦バスターミナル

所在地：淡路市 浦



「島にそそぐ」兵庫県神戸市 小幡啓一氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

東浦バスターミナルは、島内は元より、高速舞子、三ノ宮、新神戸、岩屋、洲本行きも発着する交通拠点となっています。

また、ターミナルには、中浜稔猫美術館や陶芸館などの文化施設、地元でとれた新鮮な野菜や花や木の苗などを購入できる道の駅が併設され多目的な役割を果たしています。

ターミナルと隣接する浦海浜公園へは、サンシャインブリッジで連結されており、海岸は浦県民サンビーチとして親しまれています。

## 【景観の特徴】

自然がつくりだす景観  
 歴史がつくりだす景観  
 生活・文化がつくりだす景観  
 ✓ 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道東浦ICから県道460号線を直進。車で約5分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# うらけんみん 浦県民サンビーチ

所在地：淡路市 浦



「島にそそぐ」神戸市 小幡啓一氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品）



浦県民サンビーチ



夏の海水浴

出典：財団法人淡路島くにうみ協会 HP

浦県民サンビーチからは大阪湾を一望でき、天気の良い日には紀伊水道に浮かぶ島々や、関西空港や神戸空港を離着陸する航空機を眺めることもできます。

淡路島北東部のレジャースポットとして、海水浴を快適に楽しむための設備が整えられており、気軽に夏を満喫できる海水浴場として環境省「快水浴場百選」に選定されています。隣接する浦海浜公園には、展望遊歩道やパターゴルフ場などもあり、多様なレクリエーションを提供しています。

美しい海水浴場の景観を守るため、近隣の小学校や企業などによるボランティア活動として定期的な清掃活動が行われています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道東浦ICから県道460号線を東へ。車で約5分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# のじまだんそうほぞんほくだんしんさいきねんこうえん 野島断層保存北淡震災記念公園

所在地：淡路市 小倉



外観



野島断層

出典：財団法人淡路島くうみ協会 HP



断層断面

出典：財団法人淡路島くうみ協会 HP



展示室

出典：財団法人淡路島くうみ協会 HP

平成 7 年（1995）に発生した阪神淡路大震災により、旧北淡町江崎から野島に至る淡路島北西部の海岸沿いに、延長約 10km に及ぶ活断層である「野島断層」（国指定天然記念物）が現れました。

野島断層の南端に近い旧北淡町小倉地区は、断層による破壊状況が特に顕著で、生垣や畑のあぜ道の食い違いなど様々な変位地形が現れ、これらを保存する目的で平成 10 年（1988）に「北淡震災記念公園」が整備されました。

園内の「野島断層保存館」では、断層の一部（約 140m）を震災当時のままに保存・展示され、訪れる人に地震の凄まじさと脅威、地震に備える大切さを伝えています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作り出す景観
  - 歴史が作り出す景観
  - 生活・文化が作り出す景観
  - 新しく作り出す景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道北淡 IC から県道 31 号線を北上。車で約 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の 1 地形図



あさのこうえん  
浅野公園

所在地：淡路市 浅野南



浅野公園

浅野公園は、ゆるやかな斜面に位置する公園で、春には園内に桜が咲き乱れ、花見やハイキングを楽しむ家族連れでにぎわいます。

園内にある落差 15m の「不動の滝」は、万葉集に「浅野の滝」と詠われた古くからの名所で、特に紅葉の時期が美しく、滝を覆うように紅葉するモミジに、古くは「紅葉が滝」と呼ばれていました。

また、園内には滝から池のほとりを歩く散策コースもあり、常隆寺山のハイキング途中にぜひとも立ち寄りしたい場所です。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
  - ✓ 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道北淡 IC 下車、県道 123 号線を南下し、国道 462 を北西に進む。車で約 30 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

# はりまなだ たかだい た ほくだんちゅうがっこう 播磨灘をのぞむ高台に建つ北淡中学校

所在地：淡路市 浅野神田



北淡中学校校舎と播磨灘

北淡中学校は、平成 16 年に北淡東と北淡西中学校の統合をきっかけに新築されました。モダンで美しい校舎が特徴です。

設計にあたっては、瀬戸内海に望む淡路島の自然とイメージからくるデザインを大切にしながら、夕日や播磨灘への眺望を随所に取り入れながら、「ピワ」をカラーモチーフに地域のシンボルの施設となるよう配慮されました。

校内では、多様な学習形態に対応できるように、生徒ひとりひとりが居場所を持てるようにも配慮されています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - ✓ 生活・文化が作りだす景観
  - ✓ 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道北淡 IC から県道 123 号線から  
県道 31 号線を左折。車で約 15 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

きゅうはらけじゅうたく ほくだんれきしみんぞくしりょうかん  
旧原家住宅(北淡歴史民俗資料館)



所在地：淡路市 浅野南



旧原家住宅

北淡歴史民俗資料館は、淡路島に関する古文書、古地図、農具、タコツボや淡路市内の遺跡からの出土品など、約 3,500 点の資料を収集・展示している施設で、保存館・展示館・収蔵庫の 3 棟で構成されています。

北淡歴史民俗資料館の敷地内には、寛保 2 年（1742）に建てられた第 65 代衆議院議長の原健三郎氏生家が移築復元されています。旧原家住宅は、県指定重要有形民俗文化財に指定されています。木造茅葺きの建物内には、淡路島の衣・食・住・行事等の民俗資料が展示され、実際に家の中に入って昔の暮らしの様子を知ることができます。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - ✓ 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道北淡 IC から県道 31 号線を北上、車で約 10 分。



地図出典：国土地理院発行 2万 5 千分の 1 地形図

# いしだちく たなだ 石田地区の棚田

所在地：淡路市 石田



播磨灘と収穫時の棚田



代掻き時の棚田



夏の棚田



山側へ見る石田地区の棚田

淡路島北部には、限られた土地と傾斜を利用した棚田が点在しています。また、淡路島には水不足を解決するため、ため池も多くつくられてきました。棚田とため池、播磨灘が一体となった景観は、淡路島を代表する景観であるとともに、淡路島の風土と先人の苦労を偲ばせます。

島内の棚田のなかでも、淡路市石田地区に広がる棚田は美しく、5月の代掻きで水が張られた棚田、7月の稲で緑一色になった棚田、9月の稲穂で黄金色に輝く棚田など、季節毎に素晴らしい景観を見せてくれます。

淡路島でも、近年、農家の高齢化が進み、耕作放棄された棚田が目立つようになってきているなかでも、伝えていきたい貴重な景観です。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路ICから、国道28号北上、車で10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# いくたちく たなだ 生田地区の棚田

所在地：淡路市 生田



「秋の棚田」淡路市 岡田征三氏撮影  
(第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)



「蕎麦の花咲く頃」洲本市 久留米敏仁氏撮影  
(第1回淡路島景観フォトコンテスト  
審査員特別賞受賞作品)

生田地区は、山あいの3つの小さな集落で構成される、棚田の景観が美しい地域です。

高齢化・過疎化が進む中、地域の活性化を図る機運が高まり、「生田地域活性協議会」が結成されました。地域資源であるそばの販売からはじまり、保育所跡を活用した「そばカフェ」と拠点施設「生田村交流ひろば」のオープン、水車小屋の復元などが実現し、今や淡路島の人気スポットの一つになりつつあります。

現在も地域の方々により、美しい棚田の景観を維持しながら、さらなる活性化にむけた取り組みが進められています。

## 【景観の特徴】

自然が作りだす景観  
歴史が作りだす景観  
✓ 生活・文化が作りだす景観  
新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道北淡 IC 下車、右折して県道123号線を南下、車で約15分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# いくはぎょこう 育波漁港

所在地：淡路市 育波



「今と昔の融合」淡路市 桑名善鉄氏撮影 (第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)

淡路島は、「御食国(みけつくに)」と呼ばれ朝廷へ水、農作物、魚介類などを献上していたほど、古来より第1次産業が盛んな地域でした。

育波漁港では、淡路島北部西浦に位置し、船曳網漁業と海苔養殖がおこなわれています。特に、1月から5月の「イカナゴ漁」、6月から12月の「ちりめん漁」の最盛期には、港が大変賑わう日本有数の漁港です。一方で、海苔養殖は12月から4月まで行われ、良質の海苔を出荷しています。

また、海釣りポイントとして、島内外から多くの釣り客が訪れます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
  - ✓ 歴史が作りだす景観
  - ✓ 生活・文化が作りだす景観
  - ✓ 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道北淡ICから県道123号線を北上。車で約10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# むろづはちまんじんじゃ 室津八幡神社

所在地：淡路市 室津



淡路島室津八幡神社の秋祭り 出典：兵庫県資料

淡路島では、布団壇尻から舟壇尻まで、島内各所で個性豊かな祭りが行われています。

そのなかでも、室津八幡神社の秋祭りは大変賑わい、島外で暮らしている室津地区出身者も一緒に、毎年盛大に祭りが行われます。

室津地区には、宮田組、西濱組、里組の3台の布団壇尻があり、宵宮、本宮の2日間にかけて地区内を壇尻が練り歩きます。特に、宵宮では布団壇尻を電飾し、暗闇のなか灯りで色づいた壇尻を多くの方で曳くという個性的な景観が現在もみることができます。

## 【景観の特徴】

- 自然が作りだす景観
- ✓ 歴史が作りだす景観
- ✓ 生活・文化が作りだす景観
- 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道北淡ICから県道123号線から  
県道31号線を左折。車で約10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# ごっさかいといせき 五斗長垣内遺跡

所在地：淡路市 黒谷



現地説明会 提供：淡路市



再現された竪穴式住居 出典：財団法人淡路島くにうみ協会

五斗長垣内遺跡は、標高 200m の津名丘陵の西側、海岸から 3 km の播磨灘を見下ろせる位置にあり、弥生時代後期に鉄器を作っていたムラの遺跡です。

平成 13 年（2001）に遺跡が発見され、平成 19 年（2007）から実施された発掘調査で、23 棟の竪穴住居跡が発掘され、そのうち 12 棟で鉄器を作る作業（鍛冶作業）を行った可能性の高い炉跡が確認されました。また、遺跡からは矢尻や鉄片、切断された鉄細片など 75 点が出土しています。

五斗長垣内遺跡は、一つの遺跡で発見された鍛冶作業用の建物の数や大きさとしては国内最大規模です。大陸から輸入した鉄を、当時の最高技術の鍛冶技術により加工していたことを示す痕跡から、大和政権など、当時の強大な勢力により淡路島が重要な拠点として位置づけられていたという歴史を感じることができます。

## 【景観の特徴】

自然がつくりだす景観



歴史がつくりだす景観

生活・文化がつくりだす景観

新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道北淡 IC から県道 123 号線を南下、車で 10 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図



じょうりゅうじ

ぐんらく

## 常隆寺とスダジイ-アカガシ群落



所在地：淡路市 久野々



常隆寺 本堂

「雪の常隆寺」淡路市 福條光氏撮影  
(第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品)

境内のイチヨウ



常隆寺境内 入口

常隆寺は、洲本市千光寺、淡路市東山寺とともに、淡路三山の1つに数えられる古刹です。寺が鎮座する常隆寺山は、名僧行基が神託を得て霊峰とした山でもあります。

後世、政権争いの犠牲となり廃帝され淡路島に流されてくる淳仁天皇が、この霊峰に父の舎人親王を祭るために寺を創建したと伝えられています。

梅雨のアジサイや秋の紅葉が美しく参道を彩ることで有名で、県指定天然記念物のスダジイ-アカガシ群落や、島内屈指の百日紅が落ち着いた境内に趣の有る景観をつくりだしています。また、常隆寺周辺は、兵庫森林浴50選にも選ばれておりハイキング道としても気持ちのよい空間を提供しています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - ✓ 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道北淡ICから、車で20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

おおさかわん のぞ たかだい ひがしうらちゅうがっこう  
 大阪湾を望む高台の東浦中学校

所在地：淡路市 久留麻



東浦中学校校舎と大阪湾（洲本方面に望む）



東浦中学校校舎 玄関口



東浦中学校校舎と大阪湾  
 （明石海峡大橋方面に望む）

東浦中学校は、淡路島の主要道路である国道 28 号から望むことができる美しい校舎で、地域のランドマークとなっています。また、校舎からは、大阪湾を一望することができ、淡路島東浦の自然環境を感じることができます。

【景観の特徴】

自然がつくりだす景観

歴史がつくりだす景観

✓ 生活・文化がつくりだす景観

✓ 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道東浦 I C から、県道 460 号線、国道 28 号へ。車で約 15 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

# ことしろぬしじんじゃ 事代主神社

## みず まつ 水かけ祭り

所在地：淡路市 仮屋



「水かけ祭り」神戸市 西橋弘氏撮影  
(第1回淡路島景観フォトコンテスト 優秀賞受賞作品)



「深まる絆」神戸市 西橋弘氏撮影  
(第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)



本殿

出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

事代主神社は、漁港の守り神であり「仮屋のえべっさん」の名で、地域に長く親しまれています。毎年9月の第3土曜日に行われる「水かけ祭」は、明治初期から続く豊漁祈願の祭礼です。水かけ祭では、町内の中学生が神輿を担ぎ、沿道から水を浴びせられながら練り歩き、最後は神輿とともに海へ飛び込みます。

また、毎年1月10日に催される「十日戎」では、地域の高校生が福娘を務め参拝客に福を授ける祭として、水かけ祭と並んでにぎわいを見せます。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

### 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道東浦IC下車、県道460号線を左折して国道28号線を南下。車で約10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# かりやぎょこう 仮屋漁港

所在地：淡路市 仮屋



仮屋漁港



朝日の中、出航する漁船  
出典：財団法人淡路島くうみ協会 HP



底引き網体験  
出典：仮屋漁業協同組合 HP



底引き網体験  
出典：仮屋漁業協同組合 HP

仮屋漁港は、淡路の北東部に位置し、旧東浦町の中心的な漁港として古くから栄えてきました。

「仮屋」という地名の由来は、「古代天皇が狩猟のため淡路島へ渡った際の仮屋」という説と、「他地方から魚を追ってきた漁師の仮屋」という説があります。現在も淡路島屈指の漁港であり、早朝には漁船が出港していく音が聞こえてきます。

近年、仮屋漁港では、船上で漁師の仕事を見学し、帰港後に漁師料理を楽しむ底引き網体験なども実施されています。また、仮屋漁港は絶好の釣りスポットとして島内外から多くの方が訪れます。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道東浦 IC から国道 28 号を南下。  
車で約 10 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1 地形図

# パルシェ<sup>かお</sup>香りの<sup>やかた</sup>館

所在地：淡路市 尾崎



ハーブガーデンと大型遊具



香りの館

出典：一般社団法人淡路島観光協会HP



ハーブガーデン 出典：財団法人淡路島くうみ協会



ハーブ体験農園 出典：財団法人淡路島くうみ協会

パルシェ香りの館は、地場産業「線香づくり」が盛んで、町中に線香の香りが漂う旧一宮町にある、香りのテーマパークです。

園内では、約150種類のハーブや芳香樹木が植えられ四季の花を楽しめるとともに、大型遊具、ハーブの香りの楽しめる温泉・香りの湯など、子供から大人までが楽しめます。また、ハーブ館ではハーブを使って、リースづくりやアロマテラピー、エッセンシャルオイルの抽出などが体験できます。

淡路島の香りの景観を五感をとおして感じることができるテーマパークとして、島内外から多くの方が訪れています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道北淡 IC から県道 460 号線から、国道 28 号へ左折。車で約 15 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

# とうさんじ 東山寺

所在地：淡路市 長澤



本堂



山門



「東山寺寸景」南あわじ市 村上利明氏撮影  
(第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品)

東山寺は、弘法大師が、弘仁10年(820)に、伊弉諾神宮の鎮護と庶民信仰の中心として開祖した由緒ある寺です。本堂及び山門は室町時代に、淡路守護職の細川頼春が寄進したもので、特に、山門は淡路島最古の木造建築物として当時の建築技術の高さを感じさせます。

また、幕末の頃、勤王の志士である梁川星巖、頼三樹三郎、伊藤聴秋などが、幕府の目を逃れ、東山寺で謀議をこらしたことがあり、志士の詩や、憤怒のあまり振った刀尖の痕が今に残っています。

境内には、サクラやフジ、モミジなど、四季折々の花が参拝に訪れる人たちを暖かく迎えてくれます。春の到来を告げるサクラや、それに続いて咲くフジも見ごたえがありますが、圧巻は秋の紅葉。境内に向かう参道は真っ赤に色づいたモミジに包まれ、山あいの古刹に荘厳な雰囲気醸し出します。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
  - ✓ 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから、県道66号から国道28号へ、県道123号を北上。車で30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

とうさんじさんけい やまざくら  
**東山寺山系の山桜**

所在地：淡路市 尾崎



「春の訪れ」淡路市 石上康敬氏撮影  
 (第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)

淡路島の北部、島を代表する古刹の東山寺が鎮座する東山寺山系には、多くの山桜が自生しています。春、山桜が満開になると東山寺山系全体が淡いピンク色に染まります。

山桜が咲きほこる東山寺山系の山並みは、西浦海岸沿いの淡路市尾崎から県道464号線沿いの淡路市新村、遠田にかけて一望することができます。淡いピンク色に染まった山並みを楽しみに、多くの観光客が訪れるとともに、地域にお住まいの方にも春の訪れを知らせてくれます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから、県道66号線から県道464号線を北上。車で30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# おい しみず 御井の清水

所在地：淡路市 佐野



御井の清水水汲み小屋 出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

御井の清水は、古事記の仁徳記の中で、「朝夕、淡道島の寒泉を汲みて大御水奉りき」と記されている、天皇の御料水「淡道島の寒泉」であるといわれています。

御井の清水からは、現在も清水が湧き出ており、竹林に囲まれた水汲み小屋は静寂に包まれ流水の音が響いています。今も味わうことのできる古代の名水「御井の清水」で喉を潤すと、淡路島の自然、御食国として朝廷と深く結びついてきた歴史を感じることができます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - ✓ 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮 IC 下車、県道 66 号線から国道 28 号に入り北東向かい、「産直淡路」手前の脇道を左へ。車で約 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図



えんじょうじ  
円城寺

所在地：淡路市 佐野



円城寺 出典：一般社団法人淡路島観光協会HP



庭園とツツジ

出典：一般社団法人淡路島観光協会HP



境内

出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

円城寺は、八浄寺の奥の院です。御本尊である二軀の秘佛聖観世音菩薩は、平安時代のもので県指定重要有形文化財に指定されており、毎年4月10日に一般公開されています。境内の庭園は、日本庭園研究の第一人者である中根金作氏の手によるものです。

また、円城寺は、あわじ花へんろ第17番札所であり、4月は桜、4月下旬から5月上旬にかけてツツジが満開になります。特に、桜が満開のときは、淡路島の豊かな自然に囲まれたのどかな田園景観と桜のなかから本殿が浮かび上がる幻想的な景観が望めます。毎年この景観を楽しみに、島内外から多くの方が訪れます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - ✓ 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮IC下車。県道88号線を東に進み、国道28号線を北上、県道157号線を左折。車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# はな さいじきえん あわじ花の歳時記園

所在地：淡路市 長澤



アジサイ園 出典：一般社団法人淡路島観光協会 HP



染物体験

出典：一般社団法人淡路島観光協会 HP



クリ拾い

出典：一般社団法人淡路島観光協会 HP



アジサイ園

出典：財団法人淡路島くにうみ協会 HP

あわじ花の歳時記園は、棚田だった 3,000 坪の土地を活用した、四季が織りなす自然を楽しむことができる花園となっています。5 月下旬～7 月上旬には、約 70 種類 3,500 株のあじさいが咲き乱れ園内を彩ります。

園内では、季節ごとに、ビワやモモを使った草木染め、ハーブの石鹸作りやリース作り、ハーブ料理教室などの自然体験や、筍掘りや山菜取り、栗拾いなどの収穫体験を楽しむことができます。

また、園内高台にある喫茶店から眺める長澤地区の棚田や、瀬戸内海の眺望は絶景です。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - ✓ 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道北淡 IC から、県道 31 号線、県道 463 号線へ。車で 30 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

あわじしちふくじん  
淡路七福神はちじょうじ  
八浄寺

所在地：淡路市 佐野



八浄寺境内 出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

七福神信仰は、淡路島の風土の中で素朴で厚い信仰を集めてきました。

淡路七福神霊場の総本山である八浄寺には、開運大黒天を祀っています。祈願大祭、笑福まつりやまめいり神事など、一年を通して様々な祭りが催されます。八浄寺は、室町時代から続く高野山真言宗の古刹「妙音弁財天」を、年ごとに場所を移してお祀りする淡路島の奇祭「回り弁天」発祥の寺でもあります。

また、あわじ花へんろ第 47 番札所でもあり、5月には境内にデイゴ、メグスリノキの白い花が咲き誇り、参拝者を迎えます。

## 【景観の特徴】

自然がつくりだす景観

歴史がつくりだす景観

✓ 生活・文化がつくりだす景観

新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮 IC 下車、県道 66 号線を東に、大谷交差点を左折して国道 28 号に入り北東に進む。車で約 15 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

# たが はま 多賀の浜

所在地：淡路市 多賀



「夕刻の釣り人」淡路市 石上康敬氏撮影（第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

多賀の浜には、遠浅の海と美しい砂浜が広がり、家族連れや女性グループなどに人気があります。夏の海水浴だけでなく、播磨灘に沈む夕日を眺めながらの散策にも最適です。

多賀の浜公園に隣接する海水浴場には、身障者も利用できる更衣室など施設も充実しています。遠浅の海には、消音ブロックがあり波音も穏やかで、沖合にT字型の防波堤があり、絶好の釣りポイントとなっています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - ✓ 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから県道88号線を北上。車で約20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# ひょうごけんりつ さ の うんどうこうえん 兵庫県立佐野運動公園

所在地：淡路市 佐野



芝生広場 出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

兵庫県立佐野運動公園は、旧津名町佐野新島に位置する面積約 29.5ha の運動公園です。佐野運動公園は地域の運動施設の拠点として、また、「野球王国兵庫」として県内施設面の充実を図るため、平成 15 年 5 月に開園しました。

園内には、全国規模の大会が開催出来る野球場、「2002FIFA ワールドカップ」でイングラウンドチームのキャンプ地となったサッカー場、各種スポーツに利用できる広大な芝生のグラウンドが整備されています。また、園内では、地域の方が日常的に散策やジョギングを楽しんでおられます。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - ✓ 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮 IC 下車、県道 66 号線を東に進み、大谷交差点を左折して国道 28 号を北東し、右折。車で約 15 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

# いざなぎじんぐう めおと 伊弉諾神宮と夫婦クス

所在地：淡路市 多賀



伊弉諾神宮 鳥居と参道



本殿



夫婦クス

国生みの大業を果たされた伊弉諾尊（イザナギノミコト）と伊弉冉尊（イザナミノミコト）の二柱をお祀りする神社。古事記・日本書紀の神代巻に創祀の記載がある最古の神社で、淡路国一宮として古代から全国の掌敬を集めています。

古事記・日本書紀には、国生みに始まるすべての神功を果たされた二神が、最初にお生みになられた淡路島の多賀の地に、「幽宮」を構えて余生を過ごされたと記されています。その場所に最古の神社として創始されたのが、伊弉諾神宮の起源と伝えられています。

境内には、伊弉諾尊（イザナギノミコト）、伊弉冉尊（イザナミノミコト）の二神が宿る御神木として、夫婦円満、安産子授、縁結びなどの御利益があると信仰されている樹齢約900年の夫婦クスがあります。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - ✓ 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから、県道88号線を北上、車で10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

あわじぶんかいかん すいせん おか  
**淡路文化会館 水仙の丘**

所在地：淡路市 多賀



「早春を演出 水仙の丘」淡路市 井上善人氏撮影（第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

水仙の丘では、淡路文化会館近くの眺望の良い丘陵地に黄色いラッパスイセンが咲き誇ります。地域の方が、果樹園であった丘陵地に植え始め、分球、移植しながら、現在では約40aに10万本ものスイセンが植わっています。

水仙の丘は、あわじ花へんろ第48番札所にも数えられており、ラッパスイセンが満開になる3月から4月上旬にかけて多くの観光客が訪れます。また、園内では、野鳥のつどう巣箱や餌台が設置されており、淡路島に訪れた春を感じることができます。

- 【景観の特徴】 ✓ 自然がつくりだす景観  
 歴史がつくりだす景観  
 生活・文化がつくりだす景観  
 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから県道66号線から県道88号線へ、多賀の交差点を左折。車で20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

あわじしりつかおり こうえん  
淡路市立香りの公園

所在地：淡路市 多賀



展望広場 出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

香りのフロムナード  
出典：淡路市立香りの公園 HPハーブガーデン  
出典：淡路市立香りの公園 HP

淡路市立香りの公園は、「香り」をテーマとしたユニークな公園です。香りの公園がある淡路市旧一宮町は、伝統産業の線香が香る江井地区など、「香り」の景観が多彩な地域でもあります。

公園内には、約 100 種類のハーブや 37 種類の芳香樹木が栽培されており、年間を通じて花と樹木の香りを楽しむことができます。花の見ごろは、ラベンダー、ローズマリーなど多くのハーブが花を咲かせる 4～6 月で、園内を散策しながら、自然の優しい香りを満喫できます。

また、たまねぎの皮を使った染色講習会、レンゲやパンジーなど様々な花を使った押し花講習会など、淡路島の魅力を体験できる講座なども開催されています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮 IC 下車、県道 88 号に入り北に進む。車で約 10 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図



ばんじょう おか そ つ な こうとうがっこう  
番城が丘に甦びゆる津名高等学校

所在地：淡路市 志筑



校舎（カリヨンの塔）と校花（ばら） 出典：津名高校HP



校舎 出典：津名高校HP



野外ステージ 出典：津名高校HP



コンサート 出典：津名高校HP

津名高校は、創立 92 年の伝統と歴史があり、卒業生は約 1 万 8 千人に及びます。平成 17 年には、創立以来の校舎地から、番城が丘の地に校舎を移転しました。

五角形の地中海風の校舎や野外ステージの中庭など、モダンな校舎が、番城が丘に甦びゆるランドマークとなっています。また、野外ステージとなっている中庭では、地域の方を招待しコンサートを開催するなど、憩いの場となっています。

【景観の特徴】

自然がつくりだす景観

歴史がつくりだす景観

✓ 生活・文化がつくりだす景観

✓ 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮 IC 下車。県道 88 号線を東に進み、国道 28 号線を北上。車で約 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2 万 5 千分の 1 地形図

しずか さとこうえん  
静の里公園

所在地：淡路市 志筑



園内の和風庭園 出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

旧津名町は、源義経との悲恋で名をとどめる静御前が隠れ住んだ地でもあります。静の里公園は、戦乱の世に、悲しくも強く生きた静御前の徳を偲んで、その霊廟を中心に整備されました。

園内には、霊廟をはじめ、資料館や茶室、宝塔などがあり多くの観光客が訪れます。また、あわじ花へんろ第 16 番札所でもあり、園内の和風庭園には、水辺に沿ってサクラやアヤマメなどが植えられています。毎年 5 月になると、悲運の恋の後に 47 歳という若さで生涯の幕を閉じた静御前を弔うかのように、紫と白のアヤマメがしっとりと美しく咲きます。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - ✓ 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮 IC 下車、県道 66 号線を東に進む。車で約 10 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

# メガワットソーラー発電施設

はつでんしせつ

所在地：淡路市 生穂新島



メガワットソーラー発電施設と淡路市役所庁舎等 出典：淡路市HP

兵庫県（環境部局、企業庁）と淡路市は、あわじ環境未来島構想推進の先導モデルとして、平成 22 年に、淡路市役所本庁舎、津名浄化センター、市民交流センターの三施設に電力を供給するメガワット級の太陽光発電施設を整備しました。太陽光発電は、自治体の施設に設置されるものとしては西日本最大級の 1 メガワットに達します。

年間発電量は約 110 万 kWh で、3 つの施設の約半年分の電力消費量に相当し、閉庁日等の余剰電力は関西電力に売却します。また、年間 CO<sub>2</sub> 削減効果は約 330t で、80 年生のスギ人工林約 42ha（約 23,000 本）が吸収する CO<sub>2</sub> に相当します。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - ✓ 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮 IC 下車。県道 88 号線を東に進み、国道 28 号線を北上。車で約 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

# しづかホール

所在地：淡路市 志筑新島



ホール西側から



ホール東側から  
出典：一般社団法人淡路島観光協会HP



ホール内  
出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

しづかホールは、平成6年（1994）に完成した淡路島初の音楽専用ホールです。

特徴的な屋根の形状は、舞の名手だった「静御前」の扇をイメージしています。静御前は、源義経との悲恋の後に出家し、淡路市津名に移り住んだと伝えられています。屋根は、海風に強いチタン素材でできており、完成から20年近くが経過しても色あせず、輝き続けています。

ホールは、800名近く収容でき、精密に計算された形状から、抜群の音の響きを感じることができます。音楽会だけでなく、映画やステージイベント、島内の中学校や高校の吹奏楽部の練習や発表の場としても利用されています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - ✓ 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから、県道66号線、県道88号線へ、車で10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

いせ もりじんじゃ はしごじし  
伊勢の森神社 梯子獅子

所在地：淡路市 中田



梯子獅子 出典：一般社団法人淡路島観光協会HP



踊り

出典：財団法人淡路島くにうみ協会HP



だんじり

出典：財団法人淡路島くにうみ協会HP

伊勢の森神社は、淡路市中田の集落を抜けた奥深い森にある小さな神社です。毎年4月には、春祭りが開催され、桜が咲き乱れる境内で獅子舞が披露された後、梯子の間に張られた綱を獅子が渡る「梯子獅子」が行われます。

春祭りは、享保13年（1728）に牛馬の疫病を治め平和を祈願するため、伊勢の皇太神宮の分霊を移し社殿を設け、獅子舞を奉納したことが始まりであると伝えられています。組んだ梯子に張られた綱の上で見事な空中芸を演じる「梯子獅子」は、全国的にみても大変珍しく、淡路島の個性豊かな祭りの景観を感じさせます。

【景観の特徴】

自然がつくりだす景観

歴史がつくりだす景観

✓ 生活・文化がつくりだす景観

新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮 IC から県道 66 号線へ、約 1 km を右折。車で約 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

# あわじ 淡路ワールドパークONOKORO

所在地：淡路市 塩田新島



「島の遊園地」淡路市 谷和樹氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

淡路ワールドパークONOKOROは、淡路市塩田新島にあるテーマパークです。

世界文化遺産など各国の有名な建築物を1/25サイズで再現したミニチュアワールドや大観覧車、メリーゴーランド、ゴーカーなど人気を集めています。

平成20年にリニューアルオープンし、芝滑りやゴーカーなどのアトラクションがさらに充実しました。また、青空市場やバーベキューレストランなども設けられ、幅広い層が楽しめる施設になっています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - ✓ 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICを下車。県道88号線を東に進み、国道28号線を南下。車で約10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

おおまち ちく でんえんけいかん  
**大町地区の田園景観**

所在地：淡路市 大町下、木曾下



「朝日に映えて」淡路市 山本喜一撮影  
 (第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)



「早苗田夕景」淡路市 山本喜一撮影  
 (第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)

淡路島は、古くから御食国とよばれ、米、野菜、肉、牛乳、魚介類など豊富な食材に恵まれており、農水産業が盛んな地域です。

そのなかでも、米づくりは、起伏のある地形を活かした棚田や水不足を解消するための県内有数のため池など、淡路島の特性を活かしながら積極的な取り組みが行われてきました。その一方で、農家の高齢化や担い手の減少などにより、耕作放棄地が増えるなどの課題も生じてきています。

大町地区は、淡路島山間部に位置し農業が盛んな地域です。田植えが行われる5月ごろには、田んぼに水がはられ朝日や夕日に色づく素晴らしい田園景観を望むことができます。

【景観の特徴】

自然がつくりだす景観

歴史がつくりだす景観

✓ 生活・文化がつくりだす景観

新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから、県道66号線を西へ、車で約15分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

いわがみじんじゃ ちゅうしん きよせきしんこう  
 岩上神社を中心とした巨石信仰

所在地：淡路市 柳沢



本殿と神籬岩（ひろもぎいわ）



神籬岩（ひろもぎいわ）



舞殿

岩上神社には、淡路島を代表する高さ 12m、周囲 16mもある巨石「神籬岩（ひろもぎいわ）」が本殿横の岩山中腹にあります。卵の形をした自然石で、「ひもろぎのお岩さま」とも呼ばれ、巨石信仰の象徴として、昔から地域の方に親しまれてきました。

神社創建は室町時代であると伝えられていますが、巨石の付近から平安時代の土器が出土し、古代から祭祀されてきたと推測できます。

県重要文化財の指定を受けている本殿は、軒出を不均一にするなど類を見ない建築技法や、不規則な配色、象鼻が飛び出す彫刻の多用など、国内でもきわめて異色の本殿です。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - ✓ 歴史がつくりだす景観
  - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路 IC から、県道 66 号線を北東へ。車で 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万 5 千分の 1 地形図



# はりまなだ あわじ にしうら 播磨灘に落ち込む淡路 西浦の風景

所在地：淡路市 深草



「島の夕景」兵庫県尼崎市 松崎純治氏撮影  
(第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)



「播磨灘と田んぼ」淡路市 源田みどり氏撮影  
(第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)

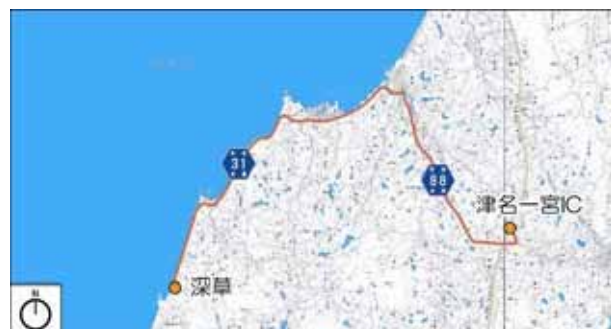
淡路島の西海岸は、通称「西浦」と呼ばれています。特に、旧一宮町深草周辺の西浦北部は、播磨灘へせりだした丘陵地がストンと海に落ち込み、独特な自然景観をつくりだしています。また、海と丘陵地が一体となった自然のなか、淡路瓦を葺いた昔ながらの民家が点在し、淡路島らしい景観が広がっています。

昔、西浦の漁師は、冬に吹く北西風の影響で漁に出られず、三重、和歌山や徳島方面へ杜氏として出稼ぎにでていたほど生業条件が厳しい地域でした。そこで、岬や丘陵地などの小さな地形の変化を活かし、播磨灘からの波風を上手に避けながら、港や漁村がつくられてきました。現在も、岬の側に佇む漁村集落や港では、淡路島の風土に合わせて暮らしてきた工夫を感じることができます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - ✓ 歴史がつくりだす景観
  - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮 IC 下車、県道 88 号を北上、群家交差点を左折し県道 31 号線に入り西へ進む。車で約 40 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

# しおたちく まちな 塩田地区の町並み

所在地：淡路市 塩尾



塩田地区の町並み（兵庫県 私の好きな兵庫のまちなみ 100 選）

塩田地区は、古くから漁業と共に発展してきた漁村です。海岸線まで迫った山と海で限られた土地に、国道 28 号に沿うようにぎっしり住居が連なっています。

塩田地区の後背にある高台からは、淡路瓦で葺かれた薨の波、大阪湾、湾にせり出すように連なる丘陵地が一体となった景観を望むことができます。

また、塩田地区内では、漁船や漁具、ワカメの天日干しなど、現在も漁業を生業とした景観が残っています。



「朝の漁港」洲本市 川添卓也氏撮影  
（第 1 回淡路島景観  
フォトコンテスト 応募作品）



「磯の香り」淡路市 山本允惟氏撮影  
（第 2 回淡路島景観  
フォトコンテスト 応募作品）

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - ✓ 歴史がつくりだす景観
  - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮 IC を下車。県道 88 号線を東へ向かい、国道 28 号を右折。車で約 15 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

くだしだいみょうぎょうれつ  
**下司大名行列**

所在地：淡路市 里



国営明石海峡公園淡路地区での下司大名行列の披露 提供：国営明石海峡公園

下司大名行列は、阿波藩蜂須賀公が参勤交代時の宿入りする際の礼法所作をまねて、江戸時代中期より始まった祭礼です。

淡路市重要文化財に指定されており、「馬よ早よ行け 新徳徳と 宿へついたら 豆かます」と、特徴あるゆったりとしたリズムで歌われる馬子唄にのせて独特の礼法所作を演じます。

下司大名行列は、行列を取り仕切ってきた祭礼団を前身とした下司大名行列保存会が、保存・伝承に努めています。以前は、氏神である春日神社の春の祭礼に毎年奉納していましたが、数年に一回の奉納となっています。その一方で、最近イベントで披露してほしいとの要望もあり、国営明石海峡公園などで披露もされています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
  - ✓ 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮 IC 下車、県道 88 号線を東に進み、国道 28 号線を南下し、県道 469 号線へ。車で約 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

たかくらさんさんちょう ちょうぼう  
高倉山山頂からの眺望

所在地：淡路市 木曾上畑



「大阪湾の朝」淡路市 山本喜一氏撮影  
(第1回淡路島景観フォトコンテスト 審査員特別章受賞作品)



高倉山から明石方面を望む  
出典：快適な中山間の地・木曾大町  
ふれあい交流広場HP



高倉山から四国方面を望む  
出典：快適な中山間の地・木曾大町  
ふれあい交流広場HP

高倉山は、標高 266m の山です。県道 66 号線から望むことのできる淡路島北部の緑のランドマークとなっています。

山頂にある高倉神社の境内からは、大阪湾や播磨灘を一望することができ、特に日の出に色づく大阪湾は非常に美しい景観です。

高倉神社は、古くから安産祈願の神社として知られ、現在も餅まきなど、地域の方に大切に守り育てられている神社です。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから、県道 66 号線を西へ、車で約 30 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

あわじしちふくじん  
淡路七福神ほうしょうじ  
宝生寺

所在地：淡路市 里



宝生寺本堂 出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

七福神信仰は、淡路島の風土の中で素朴で厚い信仰を集めてきました。

宝生寺は、七福神の一つである寿老人が祀られ、七福神巡りの参詣客で賑わっています。境内にある長寿橋を渡れば10年長生きができるといわれています。

宝生寺は、天平十三年（740）に聖武天皇の勅命をうけた僧行基が淡路島に建立を祈願し、自から刻まれた地蔵菩薩を安置したのがはじまりとされています。この地蔵菩薩は「日限地蔵尊」と崇められ、霊験あらたかな尊像として、多くの人に親しまれてきました。

## 【景観の特徴】

- 自然がつくりだす景観
- ✓ 歴史がつくりだす景観
- 生活・文化がつくりだす景観
- 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮IC下車、県道66号線、県道88号線を東に進み、国道28号線、県道468号線を南下。車で約20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# たかたやかへえこうえん 高田屋嘉兵衛公園

所在地：洲本市 五色町都志



高田屋顕彰館と高田屋嘉兵衛公園

高田屋嘉兵衛公園は、北方領土の開拓、日露民間外交に偉業を残した五色町出身の高田屋嘉兵衛を顕彰し、永く後世に語り継ぐための記念公園として整備されました。園内には、高田屋顕彰館の他、日露友好の証として高田屋嘉兵衛とゴローニン提督も飾られています。

また、五色町出身で作詞家、作家として活躍した阿久悠原作で映画化された「瀬戸内少年野球団」の銅像も展示されています。

高田屋嘉兵衛公園は、総合観光拠点として、ログハウスやキャンプ場、公共の宿等の宿泊施設、また温泉や、スポーツ施設等、様々な施設を併設し多くの観光客が訪れます。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - ✓ 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から県道 125 号線、県道 46 号線、県道 31 号線へ。車で約 30 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

# な はな 菜の花エコプロジェクト

所在地：洲本市 五色町都志



出典：兵庫県 HP

「あわじ菜の花エコプロジェクト」は、郷土の偉人・高田屋嘉兵衛も愛した菜の花を、地域で循環的に利用し、持続可能な資源循環型社会を実践する取り組みです。淡路県民局や島内3市と地域住民・活動団体等の参画と協働により、淡路島全域で進められています。

休耕田などで菜の花を栽培し、実ったなたねで食用のなたね油を製造し、家庭などで利用します。廃食用油は回収してバイオ・ディーゼル燃料を精製し、自動車や農業機械の燃料として地域で再利用します。菜の花畑は地域の景観を彩り、観光名所や環境学習の場ともなります。また、なたね油の製造時に発生するなたね粕も、家畜の飼料や土の肥料として利用します。

平成14年度に洲本市(旧五色町)、淡路市(旧東浦町)をモデル地区としてスタートし、現在では廃食用油の回収は全域に拡がり、また菜の花・なたねの栽培面積も増えています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

【アクセス】モデル地区 洲本市(旧五色町)へは  
神戸淡路鳴門自動車道西淡三原ICから県道31号線を北上、車で20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# のぞ ゆうひ サンセットラインから望む夕日



所在地：洲本市 五色町鳥飼浦（サンセットパーク五色 夕日が丘公園）



「夕陽に魅せられて」大阪府 土井一弘氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品）



「海と夕日」洲本市 坂本瑠南氏撮影  
（第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品）



洲本市五色町鳥飼から望む夕日

淡路島の西岸を南北に走る県道 31 号線は、夕方になると瀬戸内海に沈む美しい夕日を望むことができることから、別名サンセットラインと呼ばれ、絶好のドライブコースとして人気を集めています。

サンセットライン沿いには、江崎灯台、五色浜など、夕日を望めるおすすめスポットが点在しています。その中でも洲本市五色町鳥飼浦の「サンセットパーク五色 夕日が丘公園」は、播磨灘をパノラマのように一望できる高台にあり、小豆島や家島諸島に沈む夕日のシルエットは絶景です。また、慶野松原から望む夕日も、白砂青松と合間みえ、素晴らしい景観をつくりだしています。

慶野松原とともに、旧北淡町室津、富島から望む夕日は、「日本の夕日百選」にも選ばれています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

サンセットパーク五色 夕日が丘公園へは、神戸淡路鳴門自動車道西淡三原 IC から、県道 31 号線を北上し、車で 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図



あわじふじ せんざん  
淡路富士・先山

所在地：洲本市 上内膳



先山



大阪湾方面への展望



三原平野、四国方面への展望



千光寺の展望台

先山は、別名「淡路富士」と呼ばれ、諭鶴羽山、柏原山とともに「淡路三山」と呼ばれています。国生み神話で伊弉諾尊（イザナギノミコト）と伊弉冉尊（イザナミノミコト）の二神が、国生みの際に最初につくった山であると言い伝えられていることから、「先山」という名前がつけられました。淡路島中部にある先山山地の最高峰（標高 448m）から、西側へは緩やかな津名丘陵が、東側へは南北に通る先山断層を挟み丘陵が広がっています。三原平野から四国を望む山頂展望台からの眺望は、洲本八景の一つに数えられています。

山頂には淡路島の名刹である先山千光寺があり、信仰の山の静かな雰囲気をかもし出しています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から県道 469 号線から、県道 465 号線を北上し、車で 25 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

# せんざんせんこうじ せんこうじ せんこうじ 先山千光寺とスタジイ林

所在地：洲本市 上内膳



本堂と駒猪



仁王門



淡路十三仏霊場第一番 不動堂



淡路國名所絵図「先山」

千光寺は、「淡路富士」として親しまれる先山山頂に立つ淡路島第一の名刹で、淡路四国八十八ヶ所第一番の札所でもあります。先山が古くから淡路島の山岳信仰の中心であったことから、千光寺は信仰を集め、大勢の参拝客が訪れます。

境内には、仏師運慶作といわれる仁王像のほか、本堂や三重塔、鐘楼堂などが立ち並び、「梵鐘」は国の重要文化財にも指定されています。また、大猪に化身した観音菩薩に導かれた狩人が千光寺を開いたという縁起にちなんだ珍しい駒猪が見られます。

ひょうごの森百選に選ばれた先山のスタジイ林と千光寺が一体となり、淡路島の豊かな自然と歴史を感じさせる景観が広がっています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
  - ✓ 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から県道 469 号線から、県道 465 号線を北上し、車で 25 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

みょうごいし  
名号石のもみじ

所在地：洲本市 宇山



陀仏川沿いの紅葉 出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

名号石は、陀仏川（だぶつがわ）の源流に位置するお堂です。本尊である名号石には、弘法大師が刻んだと伝えられる「南無阿弥陀仏」の字が残っています。

川沿いにはモミジが多数自生し、秋の紅葉シーズンには赤や黄色に色づいたモミジを楽しみに多くの方が訪れます。また、地域の方にも、絶好の散歩コースとして親しまれています。

また、名号石はあわじ花へんろの第59番に数えられています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - ✓ 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから国道28号を東へ。  
車で約20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# すもとじつぎょうこうこう さくら 洲本実業高校の桜

所在地：洲本市 宇山



洲本実業高校の桜 出典：兵庫県立洲本実業高等学校HP

洲本実業高校は、市街地を一望できる洲本市北西部の宇山台の高台に位置し、緑豊かな自然環境にある学校です。

機械科・電気科・商業科・国際ビジネス科の4科を有し、島内唯一の実業高校としてその専門性を活かして「地域に開かれた、地域に役立つ学校づくり」を目指した教育に取り組まれています。

春は、校内の桜が満開になり、洲本市内の桜の名所として知られています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道28号を東へ。車で約15分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

きゅうぼうせきこうじょう

そうこ

## 旧紡績工場のレンガ倉庫

所在地：洲本市 塩屋



「煉瓦建造物と大樹」洲本市 東原正己氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）



「煉瓦建造物と市民広場」洲本市 東原正己氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品）



旧紡績工場と三熊山



絵葉書「第三工場原動部」提供：成錦堂

鐘淵紡績株式会社は、明治 33 年（1900）に操業を開始し、大正 15 年（1926）ごろの洲本川河口埋立地への工場規模拡大など、昭和 60 年代当初まで島内最大の紡績工場として操業が続けられました。鐘紡洲本工場の発展が、洲本市の近代化に大きく寄与したといっても過言ではありません。

平成 7 年（1995）に、鐘紡工場として操業していた煉瓦建築物の再生事業が行われ、現在は、図書館やレストランとして再利用されています。また、平成 19 年（2007）には、煉瓦建築物 4 棟が経済産業省の「近代化産業遺産」に認定されています。

旧紡績工場とともに整備された市民広場からは、淡路島のランドマークである先山、三熊山の洲本城跡を眺めることができ、市民の憩いの場となっています。

## 【景観の特徴】

- 自然がつくりだす景観
- ✓ 歴史がつくりだす景観
- 生活・文化がつくりだす景観
- ✓ 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から、国道 28 号、県道 76 号線を南下し、車で 15 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

とうないさいだい き ぼ あわじしま  
島内最大規模の淡路島まつり

所在地：洲本市 海岸通



「島祭り」洲本市 西岡杏莉氏撮影（第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

淡路島まつりは、これまで60回以上も行われてきた淡路島を代表する夏祭りです。毎年8月の第一日曜日を含む3日間に、洲本市街地と洲本港の周辺で開催されます。

1日目と2日目に行われるおどり大会には、本場徳島からも阿波踊りの連も参加して、素晴らしい踊りが披露されます。3日目の最終日には、花火大会が催され、夜空で花開く花火と海面に映りこむ花火のグラデーションが洲本市街地と洲本港を彩ります。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - ✓ 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道28号、県道76号線へ。車で約20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# いつくしまじんじゃ 巖島神社

所在地：洲本市 本町



巖島神社 本殿

出典：一般社団法人淡路島観光協会 HP



御神幸(ごしんこう)

出典：一般社団法人淡路島観光協会 HP

巖島神社は、かつて洲本港沿岸に鎮座し、船の航行を見守る神として信仰を集めていました。現在は、洲本市街地のほぼ中央に鎮座し、周辺の商店街や地元の人たちから「弁天さん」の愛称で親しまれ、縁結びや交通安全、安産などのご利益で多くの信仰を集めています。

境内には、家老稲田家の守護神・稲本神社の碑や、庚午事変を背景とした船山馨の小説「お登勢」を記念した「お登勢の碑」が立っています。

また、秋の例大祭は 島内一の弁天祭として知られ、10 万人を越す人々が訪れます。祭り最後の「残り福」の日、白装束の奉仕隊が白布に包まれた御神体を背負って町中を練り歩く「御神幸(ごしんこう)」は日本の奇祭の一つです。

## 【景観の特徴】

- 自然が作りだす景観
- ✓ 歴史が作りだす景観
- 生活・文化が作りだす景観
- 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC 下車、国道 28 号を東へ。塩屋交差点を右折して県道 76 号線に入り、栄町二丁目交差点を左折、栄町二丁目東交差点を右折して南に進む。車で約 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

# おおはまかいがん 大浜海岸

所在地：洲本市 海岸通



大浜海岸 白砂青松



「冬の三熊山と大浜」洲本市 東原正己氏撮影  
(第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品)



洲本城展望休憩所から  
一望できる大浜海岸

大浜海岸は、慶野松原と並び淡路島を代表する海水浴場です。大正初めに、京都大学水泳部が合宿をして以来、関西有数の海水浴場として広く阪神圏に知られることとなり、環境省が選ぶ「日本の快水浴場百選」にも選ばれています。

大浜海岸は、白い砂浜に洲本大浜の千本松と呼ばれる黒松が生い茂り、美しい白砂青松の景観をつくりだしており、海水浴、淡路島祭りや洲本花火大会が開催される夏の季節だけでなく、地域の方の憩いの場を提供しています。

白砂青松の景観を守り育てていくために、地域の方が中心となった清掃活動などの取り組みも行われています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から、国道 28 号、県道 76 号線を南下し、車で 15 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図



# すもとじょうし 洲本城址

所在地：洲本市 小路谷



模擬天守閣



「洲本のお堀」洲本市 東原正己氏撮影  
(第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品)



石垣と樹木



洲本市市民広場から眺める洲本城址

永正年間（16世紀初頭）紀州熊野水軍頭領の安宅氏が、島内八カ所の拠点の一つとして三熊山に最初に城を築きました。その後、織田信長の淡路島攻略などにより、城主が仙石秀久、脇坂安治と代わり、現在も残る石垣は、慶長14年（1609）までの24年間に脇坂時代の増改築により作られたものであるとされています。

現在の天守閣は、昭和天皇の御大典を記念し、昭和3年（1928）に建設され、模擬天守閣としては国内最古のものです。平成21年（2009）に、地域の景観形成に重要な役割を果たしている建造物として、県景観条例に基づき、景観形成重要建造物等の指定を受け、三熊山の豊かな緑の中、点景として市民に親しまれています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - ✓ 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道28号、県道76号線を南下し、三熊山ドライブウェイを山頂方面へ、車で20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

すもとじょうし      なが      しがいち      すもとこう  
 洲本城址から眺める市街地と洲本港

所在地：洲本市 小路谷



洲本城展望休憩所からの眺望



淡路國名所図絵「洲本府」



展望台



洲本城址 模擬天守

洲本城址は、三熊山（標高 133m）の山頂にあり、昭和 3 年（1928）に建てられた模擬天守の脇には展望台が整備されています。

展望台からは、先山を中心としたなだらかな山並み、大浜海岸の白砂青松、大阪湾という山と海が一体となった美しい自然景観を望むことができます。また、淡路島一の賑わいを見せる洲本市の中心市街地も望むことができ、淡路島の雄大な自然と人の営みが一体となった景観を一望できます。

洲本城址展望台からの眺望は、洲本八景にも選ばれており、観光客はもとより、洲本市を代表する景観として地域の方に愛されています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から、国道 28 号、県道 76 号線を南下し、三熊山ドライブウェイを山頂方面へ、車で 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2 万 5 千分の 1 地形図

# みくまやま 三熊山

所在地：洲本市 小路谷



三熊山と洲本城址石垣



「冬の三熊山と大浜」洲本市 東原正己氏撮影  
(第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品)



大浜海岸から眺める三熊山



洲本市市民広場から眺める三熊山

洲本市中心市街地のどこからでも眺めることができる三熊山。市街地の背景として、緑豊かな景観を創出しています

山内には、幹の直径が30cm程度の樹木を中心に、ふた抱えも有るようなスタジイの古木など、貴重な植物が自生する豊かな森が広がっており、洲本城址石垣（国指定史跡）と一体となった景観を望むことができます。

山頂へ片道20分程度でいくことができる散策コースが整備されており、観光客はもとより、地域の方の憩いの場にもなっています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
  - ✓ 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道28号、県道76号線を南下し、三熊山ドライブウェイを山頂方面へ、車で20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

まがた やまじょうすいじょう さくら  
曲田山 浄水場の桜

所在地：洲本市 山手



「洲本城とさくら」洲本市 玉岡佳奈氏撮影（第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

曲田山公園と浄水場は、洲本市の桜の名所といえば曲田山といわれるほど、春には580本のソメイヨシノとサトザクラが咲き乱れます。

洲本市の市街地からも近いいため、お花見客など、多くの方で賑わいます。特に、夜に提灯の灯りに灯されたピンク色の桜の花は風情があり、淡路島に春が訪れたことを感じることができます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路ICから国道28号、県道474号線、県道481号線へ。車で約20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

おおのちく のぞ あわじ ふじ せんざん  
 大野地区から望む淡路富士・先山とひまわり

所在地：洲本市 大野



ひまわりと先山

大野地区から眺める先山の展望は、洲本八景にも選ばれ、春は菜の花、夏はひまわりと、黄色の花畑のなか緑の先山を望むことができます。

洲本市では、市民と行政の連携による資源循環型の取り組み「菜の花・ひまわりエコプロジェクト」を推進しています。このプロジェクトでは、「淡路島 黄色いテーブル」という名のもと、菜の花とひまわりの生産者や島内店舗と連携し、油の生産・販売、学校給食への協力、使用済み油の回収などに取り組まれています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC 下車、国道 28 号へ。車約 10 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

# ごしきはま 五色浜

所在地：洲本市 五色町鳥飼浦



「夏の夕暮五色浜」南あわじ市 清水秀幸氏撮影 (第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)

五色浜は南北約2 km に渡ってメノウ、コハク、ルリ、白、斑紋など五色に輝く色鮮やかな小石に覆われた美しい海岸です。

この石は、薄い層状の結晶片岩と珪岩(チャート)からできており、美しいつやのある珪岩が一般に天然記念物といわれる五色石です。古くから知られる淡路島を代表する景勝地で、五色町の名の由来にもなっています。

五色浜は、慶野松原と並んで淡路島の夕日の名所として知られた海岸で、淡路島の西海岸を走る県道31号線はどこを走っていても夕日を見ることができるため、「淡路サンセットライン」の愛称で呼ばれています。夏には、海水浴場としてにぎわいます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原IC下車、県道31号線を北へ、車で約30分。



地図出典：国土地理院発行5万分の1地形図

# なるがしま 成ヶ島

所在地：洲本市 由良



「輝く海」洲本市 久留米敏仁氏撮影  
(第1回淡路島景観フォトコンテスト 最優秀賞受賞作品)



清掃作業 出典：兵庫県 HP



貝類調査 出典：兵庫県 HP



ハマボウ 出典：兵庫県 HP

成ヶ島は、紀淡海峡に面した淡路島本島の東沖合約 1 km に位置し、南北に約 2.5 km の細長い形状をしています。「淡路橋立」とも呼ばれ、淡路島を代表する景観です。

北端の成山と南端の小丘高崎との間は、標高 2 ~ 3 m の砂州で結ばれています。砂州は、淡路島南側の灘海岸からの沿岸流で供給された砂礫で形成され、これほど大規模なものは非常に珍しいです。

成ヶ島には、ハマボウなどの貴重な海岸植物、アカウミガメなどの貴重な生物が生息する自然の宝庫として、瀬戸内海国立公園に指定されています。この自然環境を守り育てるため、成ヶ島では、漂流ゴミの清掃作業や生態系調査など、地域の方が中心となった取り組みが行われています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から、国道 28 号、県道 76 号線を南下し由良成ヶ島渡船場へ、車で 30 分。渡船場から成ヶ島へ船で 3 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

# おいしこうえん 生石公園

所在地：洲本市 由良



「春近し」淡路市 山本喜一氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品）



展望台から成ヶ島への眺望



展望台から紀伊水道への眺望



砲台 台場跡

生石公園は、洲本八景の一つである淡路天橋立（淡路橋立・成ヶ島）紀伊水道と友が島、和歌山・紀伊半島から太平洋までを一望できる、風光明媚な公園です。

また、島内有数のウメの名所として知られており、春先には約260本の紅白の梅の花が、暖かい春の訪れを教えてください。

紀淡海峡に面するこの場所は、昔から大阪湾防衛の要として重要視されてきました。園内には、かつての日本陸軍が要塞を築いた砲台跡や要塞の遺構が今も残るほか、近くには文久3年（1861）に設置された台場跡があり、森の中にはレンガ造りの遺構も見られます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
  - ✓ 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路自動車道洲本ICから国道28号、県道76号線を南下。車で30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図



たちかわすいせんきょう たいへいよう えんぼう  
立川水仙郷と太平洋の遠望

所在地：洲本市 由良



「水仙の小米ち」洲本市 富本千寿氏撮影  
(第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)



立川水仙郷と太平洋の遠望  
出典：財団法人淡路島くにうみ協会HP

淡路島は、スイセンの日本三大群生地の一つに数えられる名所です。島内でも、立川水仙郷は灘黒岩水仙郷と並び、スイセンが満開になる毎年2月に、島内外から多くの観光客が訪れます。

特に、立川水仙郷では、紀淡海峡を望む柏原山の斜面約6haに約500万本ものスイセンが咲き乱れ、ニホンスイセンやヨーロッパスイセンなど様々な種類のスイセンを楽しむことができます。

スイセンが咲き乱れる立川水仙郷から紀淡海峡を望む景観は、洲本八景にも選ばれています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本IC下車、国道28号線、県道76号線を南下。車で約40分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# あいや たき げんじ 鮎屋の滝と源氏ホタル

所在地：洲本市 鮎屋



鮎屋の滝 出典：財団法人淡路島くうみ協会 HP



鮎屋の滝

出典：一般社団法人淡路島観光協会 HP

洲本市の鮎屋川にかかる、靈験の場として崇められてきた滝です。その落差は 14.5 メートルと、淡路島随一を誇ります。春には桜、初夏にはホタル、秋には紅葉と、四季豊かな渓谷の景観が楽しみ、特に夏は淡路島を代表する源氏ホタルの名所として知られています。

滝のそばには、不動明王を奉る行者堂があり、その昔お不動様の前で酒宴に興じた武士と従者が大地震と暴風雨に襲われたという民話が伝わっています。

鮎屋の滝の上流約 600 メートルには鮎屋ダムがあり、その上流には大城池の滝もあります。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から、国道 28 号を西へ。中条広田の交差点を南下し、鮎屋川ダム方面へ。車で約 30 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

たま ご や ふうけい  
**玉ネギ小屋の風景**

所在地：南あわじ市 山添



「田園の朝」南あわじ市 井上淳一氏撮影

(第1回淡路島景観フォトコンテスト 審査員特別賞受賞作品)



玉ネギ小屋



三原平野に点在する玉ネギ小屋



三原平野に点在する玉ネギ小屋

瀬戸内海の温暖な気候と肥沃な土壤に恵まれた三原平野では、水稻と路地野菜の三毛作や、果樹・花卉などの栽培が盛んです。

そのなかでも、玉ネギは、淡路島を代表する農産物です。玉ネギの栽培は、明治21年(1888)に始まり、現在は約2,200haを生産する全国有数の産地となっています。

淡路島では、収穫した玉ネギを乾燥・熟成させるための玉ネギ小屋が島内各地に点在しています。特に、初夏から盛夏にかけて、三原平野では、収穫した玉ネギをいっぱいにつるした玉ネギ小屋が建ち並ぶ特徴的な景観を、玉ネギの香りと一緒に望むことができます。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

玉ネギ小屋の景観を望める南あわじ市山添へは、神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから国道28号を南へ。車で約10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# ひろたばいりん 広田梅林

所在地：南あわじ市 広田広田



広田梅林 出典：財団法人淡路島くにうみ協会HP

広田梅林は、大宮寺と広田八幡神社の裏山にあります。毎年2月～3月にかけて12種類、約450本の梅の花が咲き誇り、広田梅林一面に、梅のほのかな香りがただよいます。

広田梅林は、古くから梅の名所として知られており、昭和41年に旧緑町の老人クラブが中心となり、5,000㎡に300本の梅が植樹されました。

あわじ花へんろ第27番札所として、島内随一の梅の名所として多くの方が訪れます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本IC下車、国道28号を右折し広田広田交差点を右折。車で約20分。大宮寺、広田八幡宮の裏手。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

こい もり  
恋の森

所在地：南あわじ市 広田広田



恋の森 出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

その昔、幼い男の子と女の子が仲良く語り合ったという昔話が残っており、いつの頃からか「恋の森」と呼ばれ、地域の宝として大切に守られてきました。

この森の荒神は夫婦円満の神様と言われ、夫婦仲の悪い時はこの荒神の前で睦まじく語り合えば、もとの恋仲時代の円満な夫婦に戻ると言われています。森の中にある小さな井戸から湧き出る水は恋の清水と呼ばれ、新婚早々に荒神さんへお参りすれば、末永く幸せになると言い伝えられています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
  - ✓ 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC 下車、国道 28 号を南西に進み、広田交差点の次の交差点を左折。車で約 10 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

# あわじ こうえん あわじ 淡路ふれあい公園とサンライズ淡路



所在地：南あわじ市広田広田



淡路ふれあい公園 水上アスレチック 出典：一般社団法人淡路島観光協会 HP



サンライズ淡路 BBQ 広場  
出典：南あわじ市 HP



淡路ふれあい公園 ふれあいの滝  
出典：南あわじ市 HP



淡路ふれあい公園内 芝生広場  
出典：南あわじ市 HP

淡路ふれあい公園は、自然とのふれあいをテーマにした公園です。野外スポーツやイベントを楽しめる芝生広場、子ども達に大人気の水上アスレチック、野鳥と小動物の森などのレクリエーション施設が充実しています。

また、淡路ふれあい公園周辺には、和泉層群という今から約 6,550 万年前の白亜紀の地層があり、アンモナイトなどの化石が多く出土しています。

隣接するサンライズ淡路も、スポーツ施設や宿泊施設が充実しており、淡路ふれあい公園とともに、淡路島の豊かな自然を楽しめる場を提供しています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から国道 28 号をとおり、県道 125 号を西へ。車で約 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1 地形図

けいのまつばら  
慶野松原

所在地：南あわじ市 松帆慶野



慶野松原の松林と砂浜



播磨灘に沈む夕日



慶野松原に並べられた鬼瓦



住民による松葉かき

慶野松原は、約 2.5 km の砂浜沿いに、5 万本近い黒松が生い茂る瀬戸内海随一の白砂青松です。柿本人麻呂らにより「万葉集」に詠まれ、古くから風光明媚で知られた景勝地であるとともに、千鳥の貴重な繁殖地となっているなど、四季折々の豊かな自然環境が広がっています。特に、松林越しに望む、播磨灘に沈む夕日はまさに絶景です。

慶野松原へは、夏を限らず多くの観光客が訪れ賑わうだけでなく、地元で中学生がつくった鬼瓦を飾った広場など、地域の方の憩いの場にもなっています。また、慶野松原では、美しい白砂青松の景観を将来へ守り育てていけるよう、地域の方による松葉かきや松枯れ対策などの取り組みが行われています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原 IC から県道 31 号線を北上、車で 15 分。



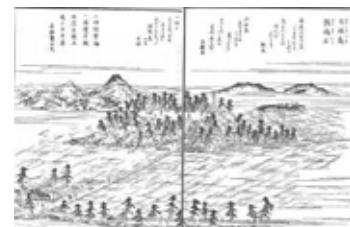
地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

# おのころ島神社と芦原国

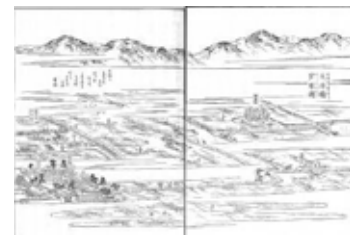
所在地：南あわじ市 榎列下幡多



おのころ島神社の大鳥居



淡路國名所図絵「おのころ島神社」



淡路國名所図絵「芦原国」



三原平野とおのころ島神社

おのころ島神社は、三原平野の真ん中にある、伊弉諾尊（イザナギノミコト）と伊弉冉尊（イザナミノミコト）を祀る神社です。神社の鎮座する丘が、国産みの舞台となった自凝（オノコロ）島であると伝えられることから、縁結びや安産などの御利益があると言われていています。

境内には高さ 21.7m の朱塗りの大鳥居が建ち、地域のランドマークとなっています。また、つがいのセキレイが二神に「とつぎ」を教えたという伝承が残る「セキレイ石」もあり、国生み伝説を感じられる神社として、島内外から多くの参拝者が訪れます。

芦原国は、おのころ島神社の西約 800m にある、国生み伝説ゆかりの地で、国常立神（クニトコタチノカミ）が祀られています。芦原国とは、古事記・日本書紀に登場する言葉で、二神が創った国土全体を指すことから、三原平野一帯が芦原国であるとも考えられています。

## 【景観の特徴】

自然がつくりだす景観



歴史がつくりだす景観

生活・文化がつくりだす景観

新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原 IC から県道 125 号を東へ。車で約 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図



# あわじしまぼくじょう 淡路島牧場

所在地：南あわじ市 八木養宜上



酪農体験 出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

淡路島牧場は、南あわじ市で盛んな酪農が気軽に体験できる観光牧場です。牧場入口には、三原酪農発祥の地の碑もあります。

「乳しぼり体験」や「チーズ・バター作り体験」などの酪農体験の他、淡路島牛乳の試飲コーナーやバーベキュー館など飲食サービスも充実しています。また、「どこんこ体験」（玉ネギの収穫など）という淡路島の「農」にふれることができる体験プログラムも充実しています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原IC下車、県道477号線、県道478号線から県道126号線を東に進み、成相川を越えたところで右折、車で約20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# あわじ おか 淡路ファームパーク・イングランドの丘

所在地：南あわじ市 八木養宣中



イングランドヒル



コアラ館のコアラ

出典：財団法人淡路島くにうみ協会 HP



ナローボート

出典：財団法人淡路島くにうみ協会 HP

「淡路ファームパーク インングランドの丘」は、イギリスの田園をイメージしたテーマパークで、三原平野の広大な敷地のなか、淡路島の歴史や農業などの体験型観光を楽しめます。

園内には、旧三原郡役所を移築した国生みの館があり、淡路島の歴史と観光地の情報を発信する資料館となっています。

地場産の野菜を販売している青空市場の他、コアラ館や羊の放牧場、カンガルー広場など、豊かな自然のなか小動物とふれあうことのできるエリアもあります。また、世界各国の植物が栽培されている大温室、パン作りやいちご・トマトの収穫体験などの各種体験教室もあり、家族連れなどの観光客で賑わっています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原ICから県道31号線から、県道478号線へ。車で約15分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# あわじ まつり 淡路だんじり祭

所在地：南あわじ市 市青木



「(だんじりまつり)風に向かって」南あわじ市 向泉氏撮影 (第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)

淡路だんじり祭りは、南あわじ市の各地区で受け継がれただんじりが集結するお祭りです。市内のだんじりを一堂に集め、地域を盛り上げようと平成18年(2006)から三原健康広場で4月に開催されています。

「チョーサジャ！」と威勢のいい掛け声をあげて約30台のだんじりが一同に集まり、布団だんじり・投げだんじりが共演して練りの見せ場を演出します。また、だんじり唄や獅子舞なども見所です。

## 【景観の特徴】

自然が作りだす景観

歴史が作りだす景観

✓ 生活・文化が作りだす景観

新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原ICから、県道125号線、県道66号線、県道477号線へ。市青木の交差点を直進。車で約20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

じゅんにんてんのうりょう  
**淳仁天皇陵**

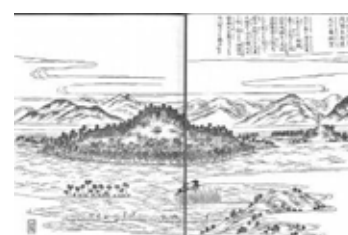
所在地：南あわじ市 賀集



淳仁天皇陵



御陵と三原平野の農の景観



淡路國名所図絵「淳仁天皇陵」



繪葉書にみる御陵 提供：成錦堂

淳仁天皇は、天平宝字 2 年（758）に第 47 代天皇に即位しました。6 年間の在位の後、皇位をめぐる争いに巻き込まれ、親王として天平宝字 8 年（764）に淡路島へ流されました。天平宝字 9 年（765）10 月に逃亡を試みるものの捕らえられ、翌日、33 歳の若さで亡くなったとされています。

古文書では「淡路廢帝」などと称され、淳仁天皇という名が贈られたのは、明治時代になってからのことです。

山形の常緑広葉樹が茂る淳仁天皇陵は、平坦な三原平野のなか、淡路島の歴史を感じさせるランドマークとなっています。

【景観の特徴】

自然がつくりだす景観



歴史がつくりだす景観

生活・文化がつくりだす景観

新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原 IC から、県道 31 号線、国道 28 号を南下し、県道 76 号線へ。車で 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2 万 5 千分の 1 地形図

# やぎうまわりちく うめ 八木馬廻地区のしだれ梅

所在地：南あわじ市 八木馬廻



「春色のシャワー」淡路市 新福功氏撮影（第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

八木馬廻地区の個人邸には、樹齢 60 年のしだれ梅があります。毎年 2 月に見ごろを迎え、満開になったしだれ梅を楽しみに多くの方が訪れます。

しだれ梅は、個人のお庭にありますが、多くの方に楽しんでいただこうとご好意で開放されています。夜間にはライトアップもされており、八木馬廻地区の早春を感じることができる素晴らしい景観となっています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路 IC から国道 28 号を右折、鳥井交差点を左折。車で約 1 時間。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

こうだいけ いしづ しきていたい  
 上田池ダム石積み式堤体

所在地：南あわじ市 神代社家



桜と石積み式堤体



紅葉と石積み式堤体



山側から見た石積み式堤体



水路トンネル

上田池ダムは、昭和7（1932）年に竣工された農業用貯水ダムで、粗石モルタル造堰堤をもつ農業用ダムの中では、我が国最大の堤高規模をもち、また、全国で10件しかない戦前の農業用重力式コンクリートダムのうちのひとつとなっています。

淡路島には水源となる高い山がなく、河川が少ない為、人々は水不足に悩まされてきました。美しさと力強さを兼ね備えたダムの石堤は、淡路島の近代土木技術の発達と、安定した農業用水の供給による農業振興の幕開けを物語っています。

上田池にたたえられた水面は、周辺の緑とともに日々刻々と面影を変え、四季折々の景観が楽しめます。天気の良い日には、堰堤からははるかに播磨灘が眺望できます。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - ✓ 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から国道 28 号を南下し、県道 535 号線を左折。車で約 30 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

# ゆづるはさん ゆづるはじんじゃ ゆづるは 諭鶴羽山、諭鶴羽神社と諭鶴羽ダム

所在地：南あわじ市 神代浦壁



諭鶴羽ダムとサクラ



「諭鶴羽山から眺めるヤブツバキと沼島のある風景」  
淡路市 平田雅路氏撮影  
(第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品)



諭鶴羽古道 提供：諭鶴羽古道を守る会



淡路國名所図絵「諭鶴羽神社」

諭鶴羽山は、淡路島で最も高い山（標高 607.9m）として、柏原山、先山とともに「淡路三山」と呼ばれています。

山頂には約二千年前に創建されたと伝えられる諭鶴羽神社が鎮座し、伊弉諾尊（イザナギノミコト）などが奉られています。山の麓から神社へと続く「諭鶴羽古道」は、信仰と生活の道として古代から人々が行き交い、道中に残る町石等が昔の賑わいを偲ばせます。

山の北にある諭鶴羽ダムには、公園として遊歩道、サイクリングコースなどが整備され、春には約 2 km にわたって約 800 本のサクラが楽しめる名所となります。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - ✓ 歴史がつくりだす景観
  - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

【アクセス】諭鶴羽ダムへは

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から国道 28 号線から、県道 535 号線へ。車で約 30 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

# なだこりかわ ちく のぞ ぬしま かいがんせん 灘来川地区から望む沼島と海岸線

所在地：南あわじ市 灘来川



「うららかな日」京都府京都市 奥田晃介氏撮影（第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

灘来川地区から灘港へ、県道 76 号線をドライブすると諭鶴羽山が紀伊水道へせり出す、海と山が一体となった淡路島らしい景観を望むことができます。その左手先には、紀伊水道に浮かぶ沼島を一望することができます。

特に、灘来川地区からは、諭鶴羽山、紀伊水道、沼島の雄大な自然を感じることができる絶好の眺望スポットです。

- 【景観の特徴】 ✓ 自然が作りだす景観  
歴史が作りだす景観  
生活・文化が作りだす景観  
新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から国道 28 号、県道 76 号線を南下。車で約 1 時間。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図



# なだくろいわすいせんきょう 灘黒岩水仙郷

所在地：南あわじ市 灘黒岩



斜面一帯に咲き乱れるスイセン



「黒岩水仙郷」洲本市 石川栄一氏撮影  
(第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品)



「水仙と沼島」洲本市 森高菜摘氏撮影  
(第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品)

灘黒岩水仙郷は、180年ほど前に、付近に住む漁師が海岸に漂着した球根を山に植えたのが繁殖したと伝えられています。現在では、諭鶴羽山（標高 608m）から海へと続く急斜面一帯、約7haにわたり、500万本ものスイセンが咲きほこる名所として、日本三大群生地数えられています。

スイセンは、一重咲きのニホンスイセンをメインに、わずかに八重咲きのものも混じり、12月下旬から2月末かけて、水仙郷一帯を甘い香りで包みます。兵庫県最南端に位置する灘黒岩水仙郷、スイセンの甘い香りが、春の前ぶれを感じさせます。

また、遊歩道をたどり斜面を登ると、遠く沼島を望むこともできます。

- 【景観の特徴】 ✓ 自然がつくりだす景観  
歴史がつくりだす景観  
生活・文化がつくりだす景観  
新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原ICから、県道31号線、県道76号線を南下。車で30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# うずしおの郷

所在地：南あわじ市 福良



うずしおドームなないる館の庭 出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

うずしおの郷とは、福良地区の活性化を目的に、うずしおの郷地域振興協議会が地元商店等と連携して、うずしおドームなないる館を拠点に淡路人形座や福良港津波防災ステーションなどの周辺施設と一体となった新しい観光スポットです。

活動拠点のうずしおドームなないる館は、南あわじ市の総合観光施設として、うず潮観潮船（咸臨丸、屋形舟）の発着場として利用されているほか、観光案内所や食事処を併設しています。また、あわじ花へんろ第46番札所でもあり、4月にはサクラ、5月上旬にはフジ、11月にはサザンカと四季とりどりの花を楽しむことができます。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - ✓ 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路南ICを下車。県道25号線から国道28号へ。車で15分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

あわじにんぎょうじょうりかん  
淡路人形浄瑠璃館

所在地：南あわじ市 福良



淡路人形座

淡路人形芝居は、500年の歴史を誇り、国指定重要無形民俗文化財に指定されている淡路島の伝統芸能です。

鎌倉時代に、舞楽など神事を生業とする楽人が大阪四天王寺から淡路島に移り住み、その後、西宮の戎神社に属したエビスカキ（人形の芸能）が島に伝わり、漁の安全と恵み等を祈る神事を人形操りで行うようになったことが始まりと考えられています。最盛期の18世紀初めには、44座の座元が覇を競い、千人以上の人形役者が淡路島のみならず日本全国を巡業し、人形芝居を伝えました。

淡路人形浄瑠璃館では、毎日人形芝居が上演され、淡路島の伝統芸能を伝える拠点となっています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - ✓ 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路島南ICから県道25号線を南下し国道28号へ。車で20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# ちりめんロード

所在地：南あわじ市 福良



ちりめんロード 出典：南あわじ市HP

ちりめんは、カタクチイワシの稚魚であるシラスを水揚げしてから素早く釜で茹で上げて、天日干しを行って乾燥させた食品です。

秋には、天日干しされている沢山のシラスが道の両端に並び、「ちりめんロード」と呼ばれる景観が福良湾沿いに広がります。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - ✓ 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路島南ICから県道25号線を南下。車で約10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

ふくらわん けむりじま おおぞのしま てんぼう  
**福良湾、煙島、大園島の展望**

所在地：南あわじ市 福良



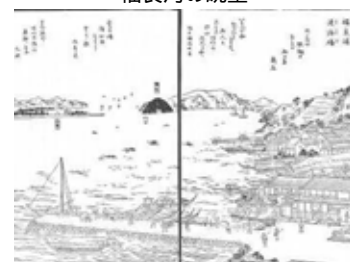
福良湾と煙島



「洲村カセット 大園島」南あわじ市 森崎好美氏撮影  
 (第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品)



福良湾の眺望



淡路國名所図絵「福良湾」

福良湾は、古くから徳島との往来で栄えた港であっただけでなく、湾内の煙島、大園島とともに景勝地として親しまれ、大見山や休暇村南淡路から眺める福良湾は南淡八景にも選ばれています。

福良湾には、源氏との戦いに敗れた平家一族が、四国を目指し落ちていく際に立ち寄ったとの記録があります。福良湾で、平敦盛を供養した際に、若くして散った敦盛を惜しむかのように煙が立ち上がったことが、「煙島」という名の由来であると言い伝えられています。

近年、福良湾では海上花火大会などが行われるなど、自然的、歴史的に優れた景勝地としてだけでなく、地域の方や観光客に親しまれた景観が広がっています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - ✓ 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路南 IC から、県道 25 号線を南下し、車で 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1 地形図

# おおなるときょう なるとかいきょう てんぼう 大鳴門橋と鳴門海峡の展望

所在地：南あわじ市 福良丙



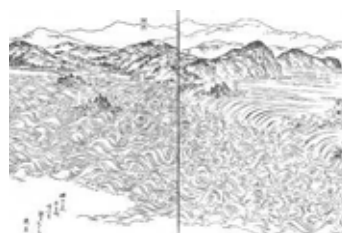
「大鳴門橋」洲本市 武田照美氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品）



「うずしお」南あわじ市 村上利明氏撮影  
（第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品）



新たなランドマークとなる大鳴門橋



淡路國名所図絵「鳴門海峡」

古くは淡路島八景に挙げられた鳴門海峡。淡路島と四国に挟まれた 1.3km と狭い海峡に、みち潮とひき潮の際、海水の移動により生じる落差と複雑な地形が影響し「鳴門の渦潮」が発生します。また、潮流が早く、大潮には時速 20km を超えることもあり、「世界三大潮流」に数えられています。

大鳴門橋は、鳴門海峡にかかる全長 1,629m の吊橋として、昭和 60 年に 9 年の歳月をかけて完成されました。

大鳴門橋と鳴門海峡がつくりだす勇壮な眺望は、道の駅うずしお、大鳴門橋記念館、観潮船乗り場などから楽しむことができます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路南 IC から、「大鳴門橋記念館」は県道 25 号線を南下し車で 5 分、「道の駅うずしお」は県道 237 号線を西へ車で 10 分、「観潮船乗り場」は県道 25 号線を南下し福良港へ車で 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

# あわじ 淡路じゃのひれフィッシングパーク

所在地：南あわじ市 阿万塩屋町



海上釣り堀 出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

淡路じゃのひれフィッシングパークは、淡路島の最南端で海と山に囲まれた大自然の中で、「キャンプ&コテージ」「海上釣り堀」「イルカとのふれあい」「バーベキューレストラン」と4つのエリアからなる総合アウトドアリゾート施設です。

目の前は福良湾、大見山の麓にある自然豊かなキャンプ場で、施設も充実しており家族連れでも安心して利用でき、アウトドアを満喫できる場となっています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - ✓ 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路島南ICから県道25号線を南下。車で約40分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

わこうど ひろば  
若人の広場

所在地：南あわじ市 阿万塩屋町



若人の広場 慰霊塔  
出典：淡路地域ビジョン HP



若人の広場からの福良湾への展望  
出典：一般社団法人淡路島観光協会 HP

若人の広場は、太平洋戦争で戦没した全国約 20 万人の学徒ら若者を祈念し、昭和 42 年（1967）に建設された施設です。世界的建築家である丹下健三氏が設計した高さ 25m の太平洋戦争の戦没学徒の鎮魂の塔「慰霊塔・永遠のともしび」や、戦没学徒の遺品が展示されている資料館・戦没学徒記念館がつけられました。

福良港を見下ろす高台に位置し、鳴門海峡を眺望できるこの場所は、鳴門海峡の背景に沈む夕日を眺めるビューポイントとしても知られています。

阪神淡路大震災を期に広場は閉鎖され、管理者不在の広場は荒廃してしまいましたが、地域の熱意により、施設の再開にむけた取り組みが進められています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路島南 IC から県道 25 号線を南下、車で 30 分。

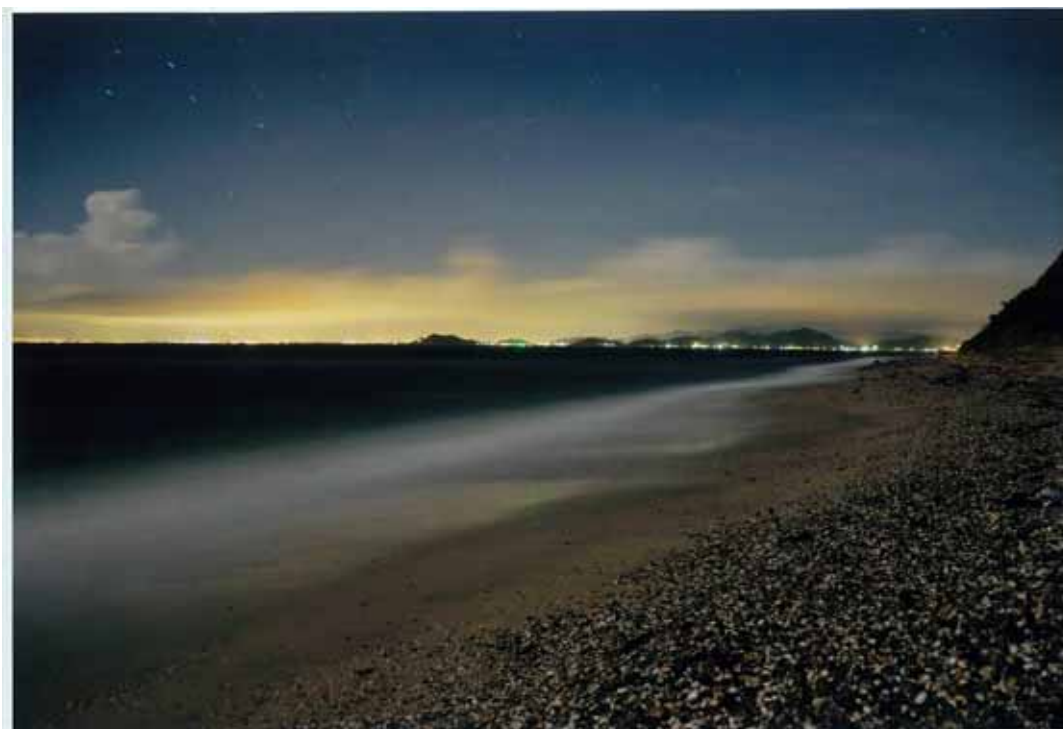


地図出典：国土地理院発行 2 万 5 千分の 1 地形図



# ふきあげはま 吹上浜

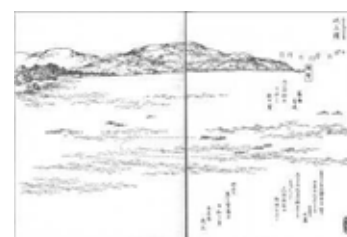
所在地：南あわじ市 阿万吹上町



「波音の浜辺」南あわじ市 井上淳一氏撮影  
(第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品)



吹上浜  
出典：一般社団法人淡路島観光協会 HP



淡路國名所図絵「吹上浜」



淡路國名所図絵「吹上浜」

淡路島の南端に位置し、南に紀伊水道（紀伊半島西岸と四国東岸との間に通じ、太平洋と瀬戸内海をつなぐ水域）、西に鳴門海峡を望むことができる海岸です。吹上浜の西部には、日本の白砂青松 100 選に選ばれた松林が約 2km にわたって続いています。

吹上浜は、海浜植物をはじめ、貴重な植物や昆虫、水生生物、鳥類などの生息場所にもなっています。また、南あわじ市 2 例目の海底の波跡の化石である「蓮痕」が発見され、高さ約 10m、幅約 5m にわたり、海底であったことを思わせる、やわらかい凹凸模様が見られます。

吹上浜の豊かな自然環境を活かしたオートキャンプ場が開設されており、夏場の海水浴シーズンには、島内外から多くの人々が訪れています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原 IC から、県道 31 号線、  
県道 76 号線を南下、県道 25 号線へ。車で 30 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

あまかいすいよくじょう  
阿万海水浴場とウミホタル

所在地：南あわじ市 阿万西町



ウミホタル 出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

ウミホタルは、日本の沿岸に生息する節足動物の仲間で、外敵から身を守る時などに、発光液を体外に分泌し青白く光ります。青白く光る様子は、夜にしか見ることができない幻想的な景観です。

南あわじ市の阿万海岸・伊弉海水浴場は、日本でも数少ないウミホタルの生息地のひとつです。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原ICから県道31号線、  
県道76号線へ。車で約50分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

# ぬしまちく しぜん いったい まちな 沼島地区の自然と一体となった町並み

所在地：南あわじ市 沼島



沼島地区の町並み

紀淡海峡に浮かぶ沼島は、漁業を主な産業とする人口約 600 人の島です。

国生み神話の中で、伊弉諾尊（いざなぎのみこと）と伊弉冉尊（いざなみのみこと）が最初につくったオノコロ島であるとの伝承地は、淡路島内 7 箇所あり、沼島もその 1 つです。

沼島は、古代は海人族（あまぞく）、戦国時代は沼島水軍の拠点となるなど、巧みな海運技術を活かし、廻船業や漁業で栄えました。現在も、路地の多くが浜を向いている漁村集落の町並みをよく残しています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - ✓ 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原 IC から、県道 31 号線、県道 76 号線を南下し、土生港へ。土生港から船で 5 分、沼島港。沼島港から徒歩で 5 分。



地図出典：国土地理院発行 2 万 5 千分の 1 地形図

かみたてかみいわ うらかいがん  
上立神岩と裏海岸

所在地：南あわじ市 沼島



上立神岩



沼島の地層



沼島の海岸美



鞘型褶曲 出典：南あわじ市 HP

沼島は、淡路島本島から 4 km しか離れていませんが、日本中央構造線の大きな断層上にあり、本島とは全く異なる結晶岩でできています。紀伊水道、大阪湾に面する沼島周辺は、奇岩や岩礁があふれ豊かな自然景観を望むことができます。

その中でも、沼島裏海岸にある上立神岩は、沼島の地質をよく表しているだけでなく、伊弉諾尊（イザナギノミコト）と伊弉冉尊（イザナミノミコト）による国生み神話伝承の地として、古くから地域の方に親しまれてきました。

また、沼島では、平成 6 年（1994）同心円構造の鞘型褶曲が発見されており、地殻内部の動きがわかる世界的にも貴重な資料となっています。

- 【景観の特徴】 ✓ 自然がつくりだす景観  
歴史がつくりだす景観  
生活・文化がつくりだす景観  
新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原 IC から、県道 31 号線、県道 76 号線を南下し、土生港へ。土生港から船で 5 分、沼島港。沼島港から徒歩で 15 分。



地図出典：国土地理院発行 2 万 5 千分の 1 地形図